



’85年総会 決意も新たに 12年目へチャレンジ

1985年5月23日(木)PM6:30より中央公民館ホールで高崎オ9合唱団’85総会が開かれました。当日は約60名の人が集り運営委員会提案の議題を熱心に討議、何れも原案通り可決して、愈々新年度のスタートがきられる事になりました。

総会は団規約第14条に基づき提案された、活動報告、決算報告、会計監査報告の承認及び新年度の運営方針、予算案の議決、更に役員改選を行うこととされています。今回の総会ではテノールの田村豊さんを総会議長に選出し、運営委員会より提案説明がなされたすべての事項につき全員一致で異議なく可決されました。なお新年度の重責を担って下さる役員は次の方々に決定しましたので今年度もよろしくお願い致します。

1985年度 高崎第9合唱団役員選出名簿

〈アイウエオ順〉

田 長	斉 藤 民	再任	運営委員	正 木 民 子	再任
副 団 長	阿 部 延	〃	〃	真 下 了	〃
〃	田 中 清 巳	〃	〃	松 原 真 介	〃
〃	〃	〃	〃	茂 木 晴 子	新任
運営委員	赤 羽 洋 子	再任	〃	福 田 朋 英	再任
〃	秋 山 芳 久	〃	〃	若 井 昂	〃
〃	阿 部 真	〃	〃	渡 辺 恭 夫	〃
〃	有 阪 保 彦	〃	〃	渡 辺 義 之	〃
〃	安 藤 昌 子	新任	〃	〃	〃
〃	小 林 紀 子	再任	事務局長	上 野 道 昭	再任
〃	武 井 祐 雄	〃	事務局次長	松 本 茂 晴	新任
〃	竹 沢 学	新任	〃	〃	〃
〃	塚 越 玲 子	再任	会計監査	伊 波 泰 子	再任
〃	長 島 好 江	〃	〃	正 木 新 樹	〃

歌のひろばの原稿を募集します。
内容随意、400字程度、毎週木曜に事務局まで。

練習会場について：6月中は音楽センター
7月からは高松町のカトリック教会へ移ります。

新年度の役員の方々に次の7つの質問に答えて頂きました。紹介をかねて順次掲載しますが順序は何れも原稿の到着順です。
質問は ①お仕事は？ ②御家族は？ ③初めてこの曲(オ9)と出会った時はいつですか、又何を感じましたか？ ④自分のキャッチフレーズは何ですか？ ⑤性格を自己分析するとどんなですか？ ⑥あなたにとってオ9とは？ ⑦12年目のオ9へ一言……。



歌のひろば

真下 了 (ましもりよう) 男 27才 運営委員・テノール

①建設会社に勤務 ②独り暮らし、寮生活。③中学生の時、そして5年前に合唱に参加。④特にありません。⑤軽薄 ⑥いろいろな人に逢えることかな。⑦明るく愉しくやりたいな。

若井 昂 (わかいたかし) 男 30年代生れ 運営委員・テノール

①憲法30条により市民の皆から年間181億円ほどいただく仕事。②愚専、豚児等6人家族 ③聞き始めは昭和30年代にクレンペラー、フルハーモニア、堀内敬三解説のLP2枚ものを購入した時。歌い始めは、昭和40年夏に高崎市音楽祭で山田一雄指揮、オケは群響、ただただ感激。④名前の通り「いつも若い」⑤お人好しの、来る者拒まず、去る者追わずといったところ。⑥他の名曲と同様に、声のでるなぎり歌い続ける価値のある作品。⑦今年も歌うのみ。

渡辺義之 (わたなべよしゆき) 男 49才 運営委員・テノール

①群馬振興(株)損害保険の代理店勤務です。②妻寛子(オ9の団員)、長男邦彦(明大4年)、長女美和子(群大3年)、次男典幸(群大1年)、三男健一(2中3年)。③昭和38年音楽センター(難しいなあ) ④まだコーラスに狂っている。⑤無色透明 ⑥生命の糧 ⑦より広く、より高く、より重く、より大きく、より明るく、より強く。

田中清巳 (たなかきよみ) 男 52才 副団長・バス

①地球の彫刻、ひと言で云えば土方。市下水道建設課勤務。②恐妻約1名 娘2人の女軍に囲まれ孤軍奮闘。③昭和20年代後半、トスカニーニ、ニューヨークフィルLP、「ベートーヴェンの、お主なかなかやるな!」 ④信なくば立たず(無信不立) ⑤ニヒルかなア? ⑥重荷を背負って行くが如し。⑦誰になんと云われようとも、もうやるっきゃない!



Pianistが
ヨロシクね
変わりました

長い間私たちのレッスンを担当して下さった西沢宜子さんは教取の都合で、高野京さんは結婚して青山京子さんとなり、お二人の後任として土塩篤子さん、中島ゆい子さんがピアノ担当となりました。



終りなき遠大なオ9を求め

永遠に続けよう この歌声!!

毎年毎年が通過点の気持ちで

6月6日音楽センターにおいて12年目のスタートとなる発声式が行われました。12年という歳月は干支(えと)でいえば12支が一巡した大事なしめくりであると共に、次の新しい年への力を存分に蓄える年でもあります。そう云った意味で今年のオ9は又違ったものになると思われまふ。

発声式は例年通り団長の挨拶から始まりました。青藤民団長は『高崎オ9合唱団が今ここに12年目を迎えることが出来たことを皆称と共に喜びたいと思います。しかしベートーヴェンのこの第9交響曲の遠大さには終りがありません。私たちは1年1年の積み重ねにより今日を迎えることができましたが、これは一つの通過点であり、更に良い合唱が生れるよう、永遠に追求していく気持ちを忘れないで欲しい。』と挨拶されました。

このあと、先日の総会で送出された'85新役員の紹介や、新入団員に対して西の運営概要の説明などが行われ、松原真介先生の発声練習で12年目の「フロイデ」がスタートしました。引続いて福田朋英さんのドイツ語指導、さらに合唱と短い時間でしたが内容に富んだ初日となりました。

又この日までには団員登録をされた方は76名で、昨年の110名に比較すると今一歩といったところです。6月中には在来の団員はもちろん、多くのオ9未経験者に呼びかけて総会で決定した200人の目標達成にガンバリましょう。去年あなたの隣りにいた人は来ているかな? うしろにいた人はどうでしょう。1人が1人を誘ってくれば200名もすぐそこです。1人でも多くの人と「飲む」の感激を分かち合おうではありませんか。

5月23日総会后に
行われた楽しかった

ミニコンサートの
PROGRAMM 紹介

1. 赤羽洋子先生 ド=ゼツテ「シヤモニのリング」のアリア (Sop)
2. 土塩寛子先生 ブラームス ピアノソナタから (Piano)
3. 中島ゆい子先生 チェコリア「チルドレンズソング」より (Piano)
4. 福田朋英先生 シラー原詩(朗読) 5. 松原真介先生 カタリー (Bri)
6. 渡辺恭夫先生 フォーレ「夢のあとに」 (Ten)



歌のひろば

新年度の役員の皆さんに次の7つの質問に答えて頂きました。
①お仕事は? ②御家族は? ③初めてこの曲(オ9)と出会った時はいつですか、又何を感じましたか? ④自分のキャッチフレーズは何ですか? ⑤性格を自己分析するとどんなですか? ⑥あなたにとってオ9とは? ⑦12年目のオ9へ一言……。 (原稿到着順に掲載)

福田朋英 (ふくだ・ともひで) 男 33才 <運営委員・テノール>

①旅館経営です。②未だ女房と私の2人だけです。③小学生の時、その時はあまり良く解かりませんでした。④別にありません。⑤複雑そうで、実は単純。⑥心のリフレッシュメント、人類的共(響)感の確認の場 ⑦群馬、日本、世界、そして宇宙に広げよう オ9の輪(和)!!

正木新樹 (まさき・しんじゅ) 男 62才 <会計監査・バス>

①医師 ②家内と2人だけ ③オ1回目の時から ④特にありません。(石橋をたいても渡らないと家内は云いますが…) ⑤真面目を画にないようだとたれなが言いますが、オ9に關しては少し優柔不断? ⑥これをやらないと年が越せない。⑦発音を何とか原語に近づけたい。

松本茂晴 (まつもと・しげはる) 男 36才 <事務局次長・テノール>

①NTT…民間会社はきびしいな。②妻?才、娘中2、母65才、秋田犬(マリコ)8才 ③中学の音楽の時間…耳がきこえなくて、どうして曲をつくつたのだろうか、不思議であつた。④よく遊ぶ、よく学ぶ? よく眠る ⑤浅慮、猛進 ⑥∞:無限大 ⑦13年目のために今年もやるのだ!

上野道昭 (うの・みちあき) 男 44才 <事務局次長・バス>

①国鉄藤岡駅 ②母、妻、子供の4人 ③12年生 ④影 ⑤短気 ⑥家族の次に付合ひ深いもの ⑦13、14……年へと続けることが希望。

気軽なあいさつで楽しい練習を! <バス> 大井 隆雄

学生の頃から続けている山登りを今も飽きずに「良く続くなあ」と、自分に感心しているのですが、山登りをしていると、すれ違う人達が「こんにちは」とあいさつをするのには、気持ちのいい思いをさせられます。山から帰って来ると、となりの人は何をする人ぞの如く冷たい社会に押し込められてしまいます。第9の中に「抱き合え百万の人々よ」のフレーズがありますが、抱き合わなくてもいいから、同じ目標に向って練習する仲間同志、山でのあいさつ同様、気軽にあいさつできれば、友達の輪が広がり練習も、より楽しくなるのではないかと思います。



オ9は同じ釜の飯食う仲間



ジフ・シー練習も今月限り

7月からは **高松町カトリック教会** に定着
〈元 天使幼稚園〉

グランドピアノ 購入も決定!!

今まで私たちが一番頭を悩ましていたのは、毎回練習を行う場所の確保でした。20人とか30人の団体ですと、何処にでもあります私たちの団のように大勢が集り、しかも4パートに分れて、ピアノも必要—ということになると、極めて限られた場所しかなく、定期的確保も非常に困難で、会場が変更の都度 ニュースでお知らせするなどの不便を強いられて来ました。ところが私たちが今までも時々借りていた高松町の天使幼稚園が他へ移転したので、この度この建物を私たちの練習会場として当分の間借りられることになりました。以前 園児室として使用されていた部屋もパート練習用に使えるので、従来のように、一つの部屋でのパート練習から解放され、落ち着いたレッスンが出来るようになります。ただ問題だったのはピアノが無くなってしまった事でした。

そこで運営委員会では急拠 6月6日の発声式終了後、この問題を検討した結果、高崎オ9合唱団のピアノを購入することに決定、資金については合唱団基金をとり崩して引き当てることにしました。これにより私たちが念願にしていた、練習会場の定着と、グランドピアノ購入という2つの懸案が一挙に解決することになった訳です。7月のレッスンからは 私たちのピアノで元気良く練習に励みましょう。詳しいことは次のオ9=ニュースでお知らせしますので是非新しい友達も誘ってお出掛け下さい。



'85 事務局員でーす。

よろしくお願ひします

みなさんも 団運営にご協力を!

事務局員は団のいろいろな実務のお手伝いや、行事の企画運営の中心となって行動して下さるボランティアです。今年は次の方々が積極的に皆さんに迫ります。ヨロシク!!

〈ソプラノ〉 多摩川弘子、岡田近子、宮田結花、河村美千子、〈アルト〉 役山美智子、牧口啓子、羽鳥明子、波谷みどり、平沢綾子、萩原千枝、〈テノール〉 新島 修、〈バス〉 田島卓雄、清水 豊。

新年度の役員の皆さんに次の7つの質問に答えて頂きました。①お仕事は? ②御家族は? ③初めてこの曲(オ9)と出会った時はいつですか、又、何を感じましたか? ④自分のキャッチフレーズは何ですか? ⑤性格を自己分析するとどんなですか? ⑥あなたにとってオ9とは? ⑦12年目のオ9へ一言。(原稿到着順に掲載しています。)

歌の
ひろば



茂木晴子 (もてき・はるこ) 女 74才 〈運営委員・ソプラノ〉

① ごく普通の主婦のする仕事 ② 演奏会は必ず"席"に来て、打上げのプレゼントをしてくれる主人との二人暮らし。③ 小学校4、5年の頃。(ヴァン・ゲルトン指揮・ワグネル、8枚組SP、今も私の手もとに。本格的に16面通して聞いたのは、恩師—ロマン・ローラン—ベートーヴェンという私にとって大きな出逢いのあった高校時代。合唱練習への初参加は昭和30年。たい感動のみ。④ そのI 無彩色。そのII より良いものを観たり聞いたり。⑤ 分析したらよくわからなくなってしまいました。⑥ 苦しみ乗り越えるための大きな力。⑦ 音楽を、オ9を愛する人みんながいっしょに歌って成功させよう。

斉藤 民 (さいとう・たみ) 女 74才 〈団長・ソプラノ〉

① 群馬県教育委員会委員長、元群馬大学教授、高崎短期大学音楽家教授、群馬県合唱連盟理事長、高崎市民音楽連盟理事長、群馬県音楽協会会長、群馬県オペラ研究会会長、みどり会合唱団並びにみどり会お母さんコーラス指導 ② 姉と二人暮らし。③ 昭和3年東京音楽学校(現芸大)に入学した年。ソリストのテクニックに感心しました。④ 群馬県の文化水準を上げること。⑤ ? ⑥ 生活の一部です。⑦ 今までと同じにベストをつくす事、メンバーを特に男声を多くさんにしたいですね。

松原真介 (まつばら・しんすけ) 男 36才 〈運営委員・テノール〉

① 教員(富岡高校) ② 妻1人、女の子2人、男の子1人、計5人 ③ 小学生の頃、あまりよく覚えていないが、何か大きいものを感じた気がする。④ 努力に勝るものはない! ⑤ 外見では、大らかにみえるが、本質は神経質。⑥ 回を重ねる度に味が解るもの、深さも感じる。⑦ 良い演奏をしたい。

高崎オ9合唱団 **尾瀬ハイキング**



7月14日
(13日夜行)

¥5,000 ±α

鳩待峠より1時間で、夏の尾瀬が原
普段は聞けない高山植物のハーモニーが
私たちを優しく迎えてくれる

参加者数により交通手段を決めます。
お申込みは 〈バス〉 有阪 85-3925 田島 02746-2-1815

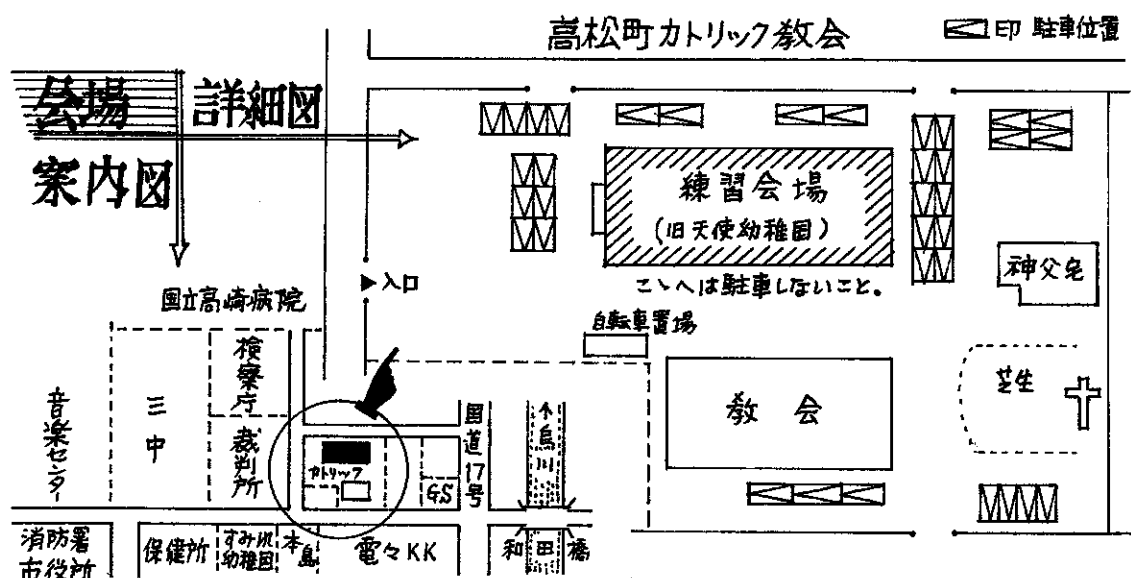


7月4日からの練習場は 高松町カトリック教会です

**駐車は定められた場所に
スリッパは各自御用意を!**

先のニュースでお知らせしたとおり、7月以降の練習会場は高松町のカトリック教会(天使幼稚園跡)に定着することになりました。これで事務局も会場探しに奔走しなくても良いことになりました。そして更に嬉しいことには私たちが「オ9合唱団」のピアノも既に搬入されて団員の皆さんが来るのを待っています。今までのアフレイトと違って一周り大きいランドピアノですからその音の響きも楽しみの一つとなるでしょう。これを機に団員募集にも一役と拍車をかけて下さるようお願いいたします。

なおこの会場は土足では上れませんので各自スリッパを御持参下さい。また、駐車については教会利用者に迷惑をかけないよう下図を参考に順序良く駐車して下さい。同じ方面の方は出来るだけ相乗りでお出掛け願います。



歌のひろば

新年度の役員の皆さんに次の7つの質問に答えて頂きました。①お仕事は? ②御家族は? ③初めてこの曲(オ9)と出会った時はいつですか、又、何を感じましたか? ④自分のキャッチフレーズは何ですか? ⑤性格を自己分析するとどんなですか? ⑥あなたにとってオ9とは? ⑦12年目のオ9へ一言。

赤羽洋子 (あかはね・ようこ) 女 41才 <運営委員・ソプラノ>

①音楽教室、安中草笛合唱団指揮。②夫・長男(高1)、長女(中1) ③音楽大学一年生。これほど音域の高い歌があるという驚き。④悪妻賢母(教育ママ) ⑤いつも明るく、物事に楽観的。まじめ。⑥心の健康のため。⑦娘の、その子と同じ年令なので、感慨深いです。

阿部 延 (あべ・すゑむ) 男 54才 <副団長・テノール>

①今年から高崎青年センター(高崎市教育委員会社会教育課) ②妻、子供3人、猫3匹 ③聞いたのは昭和24、5年頃、歌ったのは昭和30年1月or2月頃(群馬県で初めてのオ9群響と県内一般合唱団連合体) ④よりすばらしいを求め。⑤お人良し、気短か、完璧主義 ⑥何年取組んでも、いつも、はるか彼方にそびえている曲。⑦昨年、一昨年よりも充実した音楽を目指したい。

小林紀子 (こばやし・としこ) 女 53才 <運営委員・ソプラノ>

①前橋育英短期大学でチーチーパッパ。②いつもは2人、時に3人。③20数年前、番楽と声楽の共演に未知の世界を感じました。④平凡 ⑤B+A=BA型。⑥ひたすら歌う曲、すばらしい仲間との出会い。⑦初心にかえって全身でぶっかかるのみ。

正木民子 (まさき・たみこ) 女 ?才 <運営委員・ソプラノ>

①雑役婦。②現在 恐夫と2人。③歌ったのは高崎オ9のオ1回から。そのとりになっています。④色々な事は途中でサセツしても歌だけは続ける人。⑤根暗か根明かか行ったり来たり。⑥やっと流れが解りかけて来ました。⑦意識もあらたに進みませう。

阿部 真 (あべ・まこと) 男 28才 <運営委員・バス>

①高校教員 ②父母弟妹 ③小学校の頃。最初は特に印象に残らなかった。④何事もすぐやる。⑤状況によって変えることができる。⑥第9と言われてすぐ思いつくのはフルトヴェングラーのバイロイトの第9です。⑦13年目のステップにしよう。

オ9ニュース原稿募集

字数400字程度、長編は連載とします。毎週木曜締切、内容自由、詩、短歌歓迎



第1回事務局会議

グランドピアノのおひろめコンサートを企画!

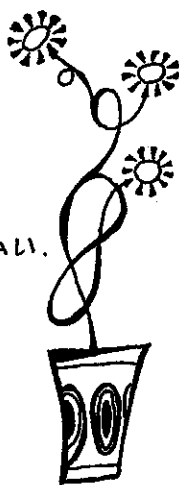
今年度の行事計画はアンケートで調査

6月29日(土)事務局員の顔合せを兼ねて第1回事務局会議が開かれました。団の活動を側面からカバーし、行事の活潑な遂行を目指して今年もいろいろなものにチャレンジして行こうということで、今後の行事計画などが討議されました。ただ計画あっても空振りとならないよう皆さんがどのような希望をもっているのかその辺の意向がわかりませんので近々アンケートを実施し、今後の活動の目安としたいので、その節は御協力をよろしくお願いいたします。

この話合いの席上、折角第9合唱団専用のピアノを購入したことであり、何らかの形でお披露目をしようということになり、ピアニストの都合を聞いた上で、第9合唱団のピアノコンサートを開こうと決定しました。詳細については次号でお知らせできるようにしたいと思います。なお、このコンサートには団員の中からも自由に参加して頂きたいので、どんな曲でも演奏して下さい方は、今からレッスンに励んでおいで下さい。

■ カルル・マリア・フォン・ウェーバー

私たちは最高に幸せな気分、いっしょに昼食をとった。
粗野で人づきあいのよくない男が、さかんに私の機嫌をとり、
食事のあいだ、
まるで私が彼に言いよっている女性でもあるかのごとく注意を払い、
思いやり深い心くばりをするのだった。
偉大な巨匠の情のこもったまなざしと尊敬の態度をうけて、
私はどんなにか誇らしく感じたことだろう。
この日は、永遠に私の心と、
その場にいられた者みんなの胸に印象づけられて残るだろう。



新年度の役員の皆さんに次の7つの質問に答えて頂きました。
①お仕事は? ②御家族は? ③初めてこの曲(第9)と出会った時はいつですか? 又、何を感しましたか? ④自分のキャッチフレーズは何ですか? ⑤性格を自己分析するとどんなですか? ⑥あなたにとって第9とは? ⑦12年目の第9へ一言。(原稿到着順)

有阪保彦(ありさか・やすひこ) 男 29才 <運営委員・バス>

①役所の取組(安中) ②独身 ③小学校の音楽の授業。なぜ喜ぶのかわからない。④別にありません。⑤もう少し自信を持ってもらいたい。⑥カレンダーみたいなもの。⑦あフロイデという曲に私も5年目となりました。

安藤昌子(あんどう・まさこ) 女 29才 <運営委員・ソプラノ>

①平凡な主婦業。②通常は主人と2人+面白の顔のワゴンだけ。=男一女は下宿生活。③乙女の頃。渡辺暁雄指揮で本を持って歌いました。たゞ漠然と偉大なものに向った思いで夢中でした。④よくわかりませんが日頃亭主殿には“うちの外さん”と呼ばれています。⑤大変スナオに思います。⑥歌う程に難しさを感じますが、この頃やっ少し理解しながら歌えるようになった感じ。10年も経つともう生活の一部です。⑦向上を求めながら新鮮さを失わずにしかも楽しく歌いたいものです。

塚越玲子(つなごし・れいこ) 女 29才 <運営委員・アルト>

①教員 ②夫1人 ③晴れたる青空……で歌ったのは小学生の時だったと思います。が、全曲に触れたのは、大学3年の時です。力強さ、生きて行く力強さを感じました。④モリモリ食べて元気な子。(いつまでたっても大人になれないので困っています。) ⑤ごく普通です。⑥かけがえのないもの。⑦第9を通して平和の輪を広げたいですね。そして、さらに高みへ(音楽的にも、人間的にも)向上したいです。

竹沢 学(たけざわ・まなぶ) 男 48才 <運営委員・テノール>

①電気設備業 ②5人 ③昭和40年 ④強ING MY WAY ⑤太っ腹 ⑥永遠の生甲斐 ⑦500人団員達成!!

秋山芳久(あきやま・よしひさ) 男 53才 <運営委員・テノール>

①国鉄の変電所の保守。②4人 ③S30年。立っていただけで全然唱えませんでした。④昔馬鹿テノール、今オジンテノール ⑤明かると振舞いたいネクラ ⑥年中行事 ⑦私にも一つ位は進歩する事項があると思います。一諸にさがして下さい。一諸に探して下さい方には〇〇を差し上げます。



今年のソリスト ソプラノ 大倉由紀枝に変更

アルト 伊原直子 テノール 下野昇 バリトン 池田直樹 はそのまま

団員募集のチラシは訂正して使用下さい

昨年度の最終運営委員会で決定されていた今年のソリストのうち、ソプラノの大倉由紀枝さんが今年12月の予定で「おめでた」ということになりましたので、急遽ソプラノが変更となりました。二期会より提示された3人の中から、才10回「N響と歌おう」演奏会の時好評だった 曾我栄子さんをお願いすることになりました。これにより才12回演奏会は 指揮 大町陽一郎、ソプラノ 曾我栄子、アルト 伊原直子、テノール 下野昇、バリトン 池田直樹、管弦楽 群馬交響楽団と全部出揃ったことになります。

ソプラノの曾我さんは今回で3回目、テノールの下野さんは昨年に続いて2回目、アルトの伊原さん、バリトンの池田さんは初出演です。どんな声が聴けるか 楽しみです。団員募集のチラシには ソプラノ大倉由紀枝となっていますので 曾我栄子と訂正して配布するようにお願いします。

7月20日(土)PM6:00~

ピアノと遊ぼう会 才9練習場

高崎才9合唱団では先に購入したグランドピアノの披露をかね、日頃の練習ではなかなか触れる機会のない 団員同志の交流と、私たちのピアノに各自が触れて楽しもうと「ピアノと遊ぼう」会を企画しました。「猫ふんじゃった」からショパンの「ノクターン」まで何でも結構、弾いたり聴いたり、楽しい土曜の宵をピアノとともに遊ばしましょう。ことによると コーヒーやお茶菓子も出るかも……。持ち、差入れ自由。無料。

今後の行事予定

8月25日(日)草津アカデミー参加
9月?日 バスハイク(帰郷)

団員募集のための はかき作戦を展開

高松町カトリック教会「天使の家」が、才9合唱団の専用練習場として使用することができるようになりましたので事務局では、昨年来ていた方で本年はまだ未登録の方たちを中心に 葉書による 団員募集作戦を展開しました。

7月6日(土)には事務局員によって150名の宛名書きを行い、即日発送しました。皆さんも知っている方には是非声をかけ、一人でも多くの団員を増やそうご協力下さい。

なお事務局では近日中に電話作戦も行う予定です。200名の合唱へ!!

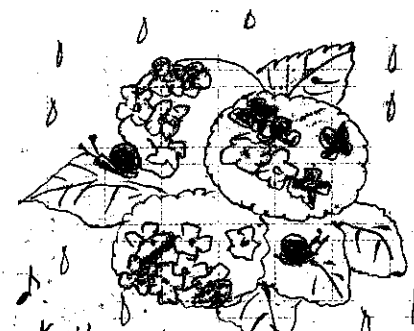
新年度の役員の皆さんに次の7つの質問に答えて頂きました。
①お仕事は? ②御家族は? ③初めてこの曲(才9)と出会った時はいつですか? 又、何を感しましたか? ④自分のギマツフレーズは何ですか? ⑤性格を自己分析するとどんなですか? ⑥あなたにとって才9とは? ⑦12年目の才9へ一言。

伊波泰子 (いなみ・やすこ) 女? 才9 <会計監査・ソプラノ>

①ピアノ教師 ②夫、娘3人 ③高校時代。目的はちがうが仲良くしていたグループでしゃべっていた時の喫茶店で、聞いていたのが印象に残っています。④明朗さ ⑤協調性はあると思うが結構我が強い。⑥皆でつくり上げる素晴らしい音楽。⑦忙しいので、ついつい休みがちですが頑張ってます。

武井祐雄 (たけい・さちお) 男 才9 <運営委員・バス>

①(株)三電社社長 ②5人 ③昭和30年 ④才9の伊達男(ではないかと自認しているのですが……) ⑤インゴ・野郎(と自分は思っていないのですが……) ⑥年に一度の深呼吸。⑦今年こそ愛妻と共に唱いたい。



「心の出会い」を求めて!!

<ソプラノ> 引田貴美枝

才9合唱団の皆様、はじめまして。引田貴美枝です。保育園に勤務しています。入団の動機は、才9合唱団の指導者でもあり私の恩師でもある、松原先生に勧められて、入団しました。

私も、歌を歌うことは好きですし、また、音楽を通して、色々な方と出会い、これによって得られた人間関係や社会生活がこれからの自分にとって、プラスになるように充実

思いついたこと

<ソプラノ> 中島ゆい子

私は幼い頃、オーケストラを見て一番奥でずっと出来そうなのは指揮者だと思った。今はこの世で一番エライのは指揮者だと思う。私の友人は16という数字が大好きで朝、必ずドアを16回開け閉めしてからトイレに行く。彼女にスクリービン楽譜を借りたところ、どのページも24色の色鉛筆で塗りつぶされ読めなかった。友人の披露宴の時、ブレンデルの演奏を聴く時、つくづくピアノをやっていた良かったと思う。なぜ母親は私をフランス人に生んでくれなかったのか。〈それは無理というもの。編〉

した日々を送りたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。



高崎第9

1985・7・18・

No. 7

高崎市弓町74番地 上野道昭方 高崎第9合唱団

Durch Leiden Freude!

ベートーヴェン

BEETHOVEN SYMPHONY No. 7



ベートーヴェンの生誕百年記念のメダル

ベートーヴェン

と

私

こいへ、ベートーヴェンと
向いあうようにあなたの
肖像写真を貼って下さい

■ ジャン・コクトー

ベートーヴェンが展開するときは退屈だ。

バッハは違う。ベートーヴェンは形式の展開をし、バッハは観念の展開をするからだ。
たいがいの方は、その反対に考えている。

ベートーヴェンは云う。

《このペン軸には新しいペンがついている—新しいペンがこのペン軸につけてある—
新しい、このペン軸のペンは》とか。

また《侯爵夫人よ、あなたの美しい眼は……》

バッハは云う。

《このペン軸には新しいペンがついている、それをインクに浸して書くために……》とか。
また《侯爵夫人よ、あなたの美しい眼は、私を焦れ死にさせます。そしてその恋は……
ここにすべての相違がある。》
(佐藤 朔訳)

Tenor: YASUO WATANABE

テノール 渡辺恭夫

ピアノ 青柳 隆夫

'85・7・26 Friday

6:30 PM

YAMAHA SALON CONCERT

モーツァルト すみれ、夕べの想

フォーレ 月の光、夢のあとに 他

中田喜直 「六つの子供の歌」全6曲

田 伊政磨 「わがうた」全5曲

Admission-charge 1,500 YEN

Place ヤマハ高崎店 3F (連雀町 Tel 25-1535)



新年度の役員の皆さんに次の7つの質問に答えて頂きました。①お仕事は？②御家族は？③初めてこの曲(オ9)と出会った時はいつですか？又、何を感じましたか？④自分のキャッチフレーズは何ですか？⑤性格を自己分析するとどんなですか？⑥あなたにとってオ9とは？⑦12年目のオ9へ一言……。 (原稿到着順)

〈今回で1985年度の役員すべての紹介を終わります。次回からはあなたの原稿をどしどしお寄せ下さい。編集子〉

渡辺恭夫 (わたなべ・やすお) 男 51才 〈運営委員・テノール〉

①群馬大学教育学部で教えています。②妻と男子と女子の4人です。③群馬県で初めてオ9をした時で山本直純青年が各合唱団をまわって指導していました。④歌うのが好きな中年。⑤気長がで短気。⑥長年の友人。⑦“オ9”さん、今年もよろしくお願ひします。P.S 7月26日(金)の練習で忙しい毎日です。

長島好江 (ながしま・よしえ) 女43才 〈運営委員・アルト〉

①片岡中学校の音楽の先生です。②5人と1匹。③中学2年の時。群馬会館で渡辺雄雄指揮のオ9、三楽章までが長くてつまんなかったのと、四楽章ではびっくりしたのを覚えています。④大きい腫と大きな口。⑤ファイトのかたまり。⑥もう生活の一部という感じ。⑦新しい気持ちで取り組みたいです。

中国茶について

〈バス〉 小林 猛

皆さん、中国茶と聞いてどんなことを連想しますか。たぶん烏龍茶……やせるお茶……ではないでしょうか。よく広告等で「烏龍茶でやせる……油のついた皿を烏龍茶で洗うとよく落ちる……」といった事を耳にしますが、専門医によれば中国茶には、やせる成分(脂肪をとくす)は、ないそうです。たしかにこれを飲んで、やせた人はいますが、それは早くやせたいためにお茶をガブ飲みしたからで、何も高いお金を出してお茶を買わなくても他に水を飲んでやせる方法があり、水をたくさん飲めば同じ効果があるからです。油の着いた皿が落ちるのは、熱いお湯で洗えばよく落ちるのと同じことです。日本では烏龍茶と言っていますが、この言葉は広東語で「馬鹿」に当たります。「鉄観音」が本当の名前です。

お茶を飲んだあと出しがらを捨ててしまう人がいますが、これは漢方薬として使うことができます。例えば筋肉痛、打撲、切り傷等の場合、出しがらをガーゼに包んで患部に当て包帯をしておく。又はお風呂の中に入れておきます。街で売っているのは粗悪品が多いので注意して下さい。



日本中が夏!

暑さとオ9難関のフーガを克服しよう。

練習場はサウナ、あなたもスリムになれる!?

暑いのは当り前の夏です。暑いと云って何もしないのは美容と健康の為にも良くありません。そこでいっと、わがオ9の練習場は無料のサウナ風呂と同じ環境を備え、僅か2時間の間に大概の方はスリムになって帰路は足取りも軽やかになります。それはかりではありません。いつもこの時期のレッスンはオ9最大の難関と云われるフーガの部分の練習に進みます。暑さとフーガは、まさに「おしん」の我慢です。従ってこれからの1ヶ月は美容と精神修養の期間と云っても過言ではありません。でもこれを克服してこそ、本当のベートーヴェンの歓びを肌で感じることが出来るのだと思います。苦しみのない所から良い芸術が生れる訳はありません。私たちが少しでも努力すればそれだけ至福の世界に近づくに違いありません。

あこがれだった

尾瀬 OZE

アルト
三浦イチ

13日、夜9時半に集合して10時に出発しました。男性が8人、女性が3人でした。私だけでなく皆さんとても嬉しそうに見えました。夜なのであまり景色は見えませんでした。日光へ行く道の七曲りなのでしょうか、ドライバーの方はとても大変でした。もちろん乗せて頂いている私の方も緊張のしどろしどろでした。

鳩待峠に午前1時半頃に着くと、男性の方々は早速テント張りをして下さいました。皆さんで軽くイッパイやって少し寝ました。テントの天井

が高く広かったのでとても感じが良く眠れました。そしてもう4時には尾瀬ヶ原に向かって皆さん出発です。男性の人たちは、またまた重い荷物を背負ってとても大変でした。でも山の装備がい

いのには頭が下りました。途中の東屋でスープとフランスパンを皆さんで食べました。尾瀬の日光きすげとあやめのなんと色鮮やかで美しかった事、小さな花も可愛いらしいと思いはした。また森林浴も沢山でき、空気も胸一杯吸い、同じ鍋のラーメンのおいしかった事。皆さんでおいしい、おいしい、きれいね、きれいねの連発でした。男性の方々のお陰で山の醍醐味を充分味あわせて頂き感謝の一言です。「本当に有難うございました」。厚かましいようですがこの次は水芭蕉の咲く頃、連れて行って頂ければ……。さアこれからはオ9で頑張りましょう。

父へのプレゼント

〈ソプラノ〉土塩 篤子 (ピアノ伴奏)



歌のひろば

昭和19年、戦時中、日比谷公会堂で、ローゼンストック指揮でオ9の演奏があった。当時19才、沖電気に勤めていた父は、日響のティンパニ奏者の小守さんから(慰問に来て知り合ったそうです)オ9の券を手に入れ胸をわくわくさせ演奏を聴きに行くと私に思い出話を語ってくれた。

オケは日本交響楽団でソリストはアルト 柴田睦美、ソプラノ 四谷文子、合唱武蔵野音大(当時は音楽学校)で聴きにきていた人はほとんどが軍服を着ていた。次の年には東京がB29の空襲で焼かれ、オ9も最後の演奏になったという。オ9が思い出の曲になり亡くなった人もいたそう。素晴らしい演奏だったと言っていた。

一昨年、私がオ9合唱団に入団し演奏会に父を招待した。私とはまた一味ちがう思いで聴いたオ9だと思うが、その何十年ぶりの感激を父にプレゼントしてあげることができて本当に良かったと思う。オ9は父にも私にも思い出ある素晴らしい曲だ。

戦中派の編集子にとっては毎日毎日が軍歌の明け暮れだったので昭和19年にクラシックの演奏会が開かれていたとはオドロキです。ドイツとは同盟関係にあったので、英・米とは違い「敵性音楽」とは見なされなかったのでしょう。

尾瀬ハイク
ダイジェスト

思い出をザックにつめて

M生記

★7月13日夜9時30分高崎駅東口集合11名。いであれはと

見ればなんと本格派アルペニスト(普通はアルピニストなんですが...)も真ッ青といった感じ(約1名、何も持たずに参加した強の者がいました。)★真夜中の寒。火灯を求めて蛾の大群が押し寄せるがそれにも負けず予定通りカンパイ!! 明日の健脚を誓う。蛾のまき散らす銀粉など味のうち、と云いつく飲んで食べた。★新語誕生! 尾瀬名物、背負人(強力)又の名をポッカ。(ポーターと云うんじゃないかぬエ。)それを聞いた田島の卓ちゃん「あれがほんとのポッカ公務員だ」★道中すべてこの調子。団員の足どりが今一つ決まらなかったのはこのダジャレのため……という声も。★待ちに待った昼食。「ラーメン出来たぞ!!」の声におもむろにザックの中からドンブリを取り出した、またまた田島君、何とザックの中味はこの昼食のためのドンブリくん1コだけ。食糧、コンロなど担ぎ上げ重さにあえいでいた諸君、啞然に撫然。★「でもドンブリ1コでも持ってくればいい方よ、何も持たずに来た人だっているものね」その他一同の声ある声。★全くどういふ感嘆の持主でしょう。その人の名は? ★満開の日光キスゲの群落をぬって歩く夏の尾瀬の爽やかさ、天候にも恵まれて楽しい思い出がいつぱいつまったザックを背に足取り軽く無事下山。



ベートーヴェンとは何か？



モーリッツ・フォン・シュヴァントによる
ベートーヴェンのスケッチ

■ ペーター・イリイチ・チャイコフスキー

私にとってベートーヴェンとは何か？これが問題なのだ。

私は彼の創造したものの偉大さの前に深く頭を下げる。

しかし、私にはベートーヴェンを愛することができないのだ。

私は自分と彼との関係から、私が幼いころ神エホバに対して感じたものを連想する。

いまも私が、その頃と少しも変らぬ感情を抱きつづけているからでもあるが、

神エホバへは非常な崇拝の念を覚え、畏怖の対象となっているため、

天地を創りたもうた神の前にひざまずくとはいえ、私にそれを愛したいという感情は起きぬ。

私はベートーヴェンのいわゆる「中期」(の作品)が好きだ。

また、ときには初期の作品にも惹かれる。

しかし、後期だけはそうではない。

むしろ憎悪の感情を抱いていると言ってよいだろう。ことに、あの最晩年の弦楽四重奏曲を。

それらには気がある。だが、それだけだ。

あとはすべて混沌のままで、その上に濃い霧が立ちこめ、

この音楽のエホバの霊がただようのだ。

(小林利之 訳)

不屈な精神で夏を乗り切ろう

〈バス〉 田中清巳

長雨の続いた うっとうしい梅雨が明け、空っ風と雷に慣れている筈の上州人の胆を冷やす程大きな雷雨に襲われて以来、今度は10日以上も雨なしデー、連日35度と水銀柱も うなぎ上りの猛暑に見舞われている。

暑けりゃ暑い、寒けりゃ寒い、ブツブツ文句をいうのは人の世の常として致仕方のないところ、とは思ふものの「この暑さじゃあ何も出来ねえ。」などとのたまわれると、我慢を知らずに育った世代の無気力さもさることながら、オジン、オバンの世代としては 何となく看過することの出来ない お節介の虫が騒ぎだすという訳でもある。

悪いことに わがオ9合唱団の演奏会はすべて年末にセットされており、これに合わせて練習スケジュールのタイムリミットが逆算される。従ってオ9合唱でも最もむづかしいとされる 7月の部分の練習が、いつも真夏の真っ盛りにぶつかる。必然的にこの時期になると練習に集まるメンバーが固定化する傾向にあるが、何を隠そう、この人たちがオ9合唱団を支える活動力の源泉の所有者たちなのである。

この源泉が涸れる時、それはオ9合唱団の終りを意味するかも知れない。それが何時まで続くか、いや続けられるか——それが問題だ。(To be or not to be). 答えは続けなければならない、ということだけだ。何の為に？

ベートーヴェンとは何か？

偉大にして永遠、壮大なドラマに貫かれる人間の讃歌「交響曲オ9番＝短調、作品125」 私たちが毎年歌い続けているこの曲について 様々な人たちが数多くの論評を行っているが、私たちの目にするものは、ほとんど専門家のそれであって、素人である私たち自身の側からのものは全くと云ってよい位、目にする機会はない。冒頭の「ベートーヴェンとは何か？」という名題も、ただ歌うだけでなしに 私たちの運動の中から真の意味で、この崇高な音楽をそれそれの意志として理解し、多くの人々に広げたいという願いから出てくる当然の問題だと思ふのである。そしてそれには 暑さを暑さとしないう不屈な精神と共に 自らがベートーヴェンを積極的に知ろうという意欲も必要なのではないだろうか。

歌のひろば



オ9合唱団の歴史を刻む

第9回 縮刷版

'83. '84年度版 各巻 600円

原稿募集中

詩・短歌・俳句・随筆・小説
長編連載可 締切毎週木曜

高崎第9

1985・8・8・

10

高崎市弓町74番地 上野道昭方 高崎第9合唱団

Durch Leiden Freude!

WFG

BEETHOVEN
SYMPHONY



ベートーヴェンとは？

■ リヒャルト・ワーグナー

どのような観点からであっても、人間としてのベートーヴェンを考察するには、彼の素晴らしい音楽家としての道の解明に頼らなくては不可能なことだ。

彼の生活の本能的性向が、いかに彼の芸術の解放への傾向と一致していたかについては、われわれのすでに知るところである。

彼は奢侈の奴隷となることはできなかったし、彼の音楽も、あらゆる軽佻浮薄な楽しみへの服従の痕跡を一掃したものでなければならなかった。

その上、彼の芸術領域を拡大するために、彼の身についた樂觀主義的宗教信託が、本能的性向と手をたずさえつつ進む姿については、その最も高貴で直截的な証言が「合唱交響曲」（オ4番＝短調、作品125）にはつきりと見ることができる。

この曲の起源に関しては、われわれの聖者の天性という問題に光を当てるために、より精密な検討をおこなうのが現在のわれわれに課せられた義務であろう。（小林利之訳）

高崎フラウエンコール

第4回定期演奏会

と き：1985年9月14日（土）PM6:30
と ころ：高崎市文化会館ホール（高女跡）
入 場 券：¥1,000

指 揮 阿 部 延
ピアノ 大河原 純子他
賛助出演・松原 真介

チケットは合唱団の事務局にあります。

赤羽洋子宅 ☎0273(22)099



真夏の夜の夢 <ピアノと遊ぼう会>から

<テノール> 松本 茂晴

閃めく稲妻、豊く雷鳴、この世の中の底が抜けるかと思われ程 凄まじい雷雨に見舞われた7月20日（土）、開始時間は若干遅れたとはいえ、20名近くの団員が 両ニモ負ケズ「ピアノと遊ぼう会」にやって来ました。実を云えば、あまりにもひどい土砂降りに「今日は駄目か」の思いがよぎったのですが、皆が集る間にと、去る13～14日に行った 尾瀬のビデオテープを見ながら 思い出話に花を咲かせて居りました。

そのうちに ミミミミ 団員の頭数が揃って来たところで、愈々「ピアノと遊ぼう会」の開幕です。土塩篤子さん、中島ゆい子さん 両ピアノストにじっくりと弾いて頂き一同しばしうっとり。お二人が弾き終った所で全神を傾けて聴いていたせい、ピアノの音がお腹にピンピン響く。誰しもこの感じ同じとみえ、それぞれ持ち寄ったお茶とお菓子で休憩。（飲み物と食べ物のお話となると一致団結するのが我がオ9合唱団の創立以来の伝統か？）

ちょっと一服リラックスしたところで、自称ピアノスト、一見ピアノスト風の団員有志による披露です。

有坂さん、清水豊さん、新島修さんによる演奏（と云えるかどうか疑問ですが…）のあと、特別参加の松原真介先生にお願ひし自慢のノドを聞かせて頂きました。参加者全員による合唱もとび出し会も盛り上って来た頃には、時計の針も早や約束の9時近く。最後に2人のピアノストにもう一度 おねだりして「遊ぼう会」の弾き締めと致しました。それはそれは楽しい土曜の夜のひとときでした。

あまり一生懸命聴いたり、無理して蜚声を張り上げたりしたので大変ノドが渴き、誰誘うともなく、足は自然と行くべき所へ歩を運びます。（この辺もオ9合唱団ならではの気風が読み取れます。）又々飲み、食い且つダベリ、うたかたの真夏の夜の夢の如く、更け行く夜半も忘れてしまう程でした。（来なかった方は誠に残念ですが、これホントのことです。）

これから後も形を変えて、こんな楽しい会を企画したいと思いますので皆さんのニーズをお寄せ頂き、次回はもっと沢山の団員に参加して貰いたいと思っています。

練習用テープ・テキスト案内

オ9のオ4楽章 合唱部分が独習出来ます。

各パート別 テープのみ 1,500円 } セット 2,300円
テキストのみ 900円

ご希望のパートをお申出下さい。申込みは事務局へ



高崎第9

1985・8・15・

no. 11.

高崎市弓町74番地 上野道昭方 高崎第9合唱団

Durch Leiden Freude!

BEETHOVEN

BEETHOVEN
SYMPHONY No.



猛暑の中……演奏会は近ずいて来る

気合を入れて本番に備えよう

チケット捌きの予約もそろそろ

毎日暑い日が続いています。つい練習への足が億劫(おっくう)になりがちです。しかしこの暑さの中、今年は新入団員も多数入団しがんばっています。暑さや日常の忙しさを乗り越え私たちオ9合唱団のテーマである「苦しみ乗り越え、歓びに至る」ことを目指して行こうではありませんか。

練習もいよいよ佳境。演奏会へ向けて一直線——というわけにはいきません。その前に立ちふさがる「チケット」の山々(チベットではありません)、その山々を越えてはじめて感激の頂上に立てるのです。12月15日(日)という日程を、いまから友人、知人、家族にPRし、暮にはあのすばらしい「オ9」と呼びかけて下さい。そうして会うたびに嫌がられない程度に、しつこく確認し、チケットの予約をとっておきましょう。

本年はオケギャラの値上げ、指揮者ギャラ等の関係もあって、総会資料('85予算案)にもあるように最底でも1,500名以上の入場者を目標としています。北風が吹きはじめからでは遅すぎます。又年末の多忙の中、オ9のために優先的に日程を組めるよう、早め早めに話を持ちかけて下さい。半年以上に亘る成果をより多くの人々に聴いてもらえるようにしたいものです。

8月31日(土)に運営委員会を開きます。

下記によりオ2回運営委員会を開催しますので、時間厳守の上ご参集下さい。

1. 日時 '85. 8. 31. PM 6:30 ~ 9:00
2. 場所 高崎市通町 仙水(ビカテリ前)
3. 議題 a オ12回演奏会に関する具体的事項の進め方について
b 来年度の演奏日程及び指揮者選定について

※ 運営委員会終了後 会所に於て暑気払を兼ね交流会を行いますので、運営委員は必ず出欠の有無をお知らせ下さい。交流会々費は 2,000円です。

尾瀬キャンプ同行記

〈バス〉 西村 健二

午後9時45分に高崎駅から出発し、国道120号のワインディング道路をひた走り、途中タイヤ破裂という車も1台ありましたが、午前1時には何とか鳩待峠にたどり着きました。

翌朝5時には雨の中を山の鼻へ向けて出発。雨でぬれそぼる歩板の上を、ただひたすら下を向いて歩いて行き小休止。山の鼻をたつ頃には降っていた雨も止み、気分も新たに尾瀬沼の木道を歩きました。

木道からは、ニッコウキスゲ、アヤメ等、色とりどりの花々が見え、手に触れられる位近くに、モウセンゴケが虫を掴んでいるところが見えたりと普段見慣れた風景とは異った、不思議な世界に入ったのではなからうか、という気持ちにさえなりました。

それにしても、日頃歩き慣れないために足の裏が痛くなってきて、山の鼻に帰ってくる頃には半分足を引きずる有様となって十分にまわりを眺めることが出来なかったのが、情けなくも残念でありました。



歌のひろば

草津国際音楽フェスティバルに行きませんか

THE 6th KUSATSU INTERNATIONAL SUMMER
MUSIC ACADEMY AND FESTIVAL

8/25(SUN) 14:00-16:00

合唱コンサート/C.Ph.E.バッハ「マニフィカート」

J.S.バッハ：ブランデンブルグ協奏曲 第4番 ト長調 BWV.1049

J.S.バッハ：カンタータ55番「われは貧しき者、われは罪のしもべ」

C.Ph.E.エマヌエル・バッハ：マニフィカート

D.シャローン(指揮)／フェスティバル管弦楽団／草津アカデミー合唱団／常盤寿子(S)／伊藤重子(A)／エヘフリガー(T)／芳野靖夫(B)

／W.ワイルコムスカ(M)／H.M.クナイス(E)

1980年から始められたこの草津国際音楽アカデミーフェスティバルは今年で6回目。'81年はモーツァルト、'82年はブラームス……というように毎年テーマを持ってやって居り、今年は J.S. バッハです。オ9合唱団も有志の人々が集って合唱に関係の深いコンサートを送って聴きに行っています。

参加したい方は〈バス〉有坂までお申込み下さい。入場料 3,000円、交通手段等は別途連絡します。

オ24回 郷土出身 新人紹介演奏会

整理券 一般 ¥500 学生(高校生以下) ¥300

阿部 智(バリトン) 高崎市請地町 北小、一中、高高、高崎経済大卒、高崎オ9合唱団員

歌劇「ドン・カルロス」より「ロドリゴのアリア」……………ヴェルディ他

とき 1985.9.11(水) PM6:30

ところ 群馬音楽センターホール

主催：高崎市民音楽連盟

後援：高崎市教育委員会



人間の自由を歌った

シラーの生涯

Johann Christoph Friedrich von Schiller

オ9交響曲のオ4楽章の部分の詩を作ったシラーは1759年(ベートーヴェンの生れる前、11年前)にシュヴァーベンのマールバハに軍医の子として生れた。生家は非常に信仰の厚い家庭で、幼い頃から両親より宗教教育を受けている。フロア・シュトックやハラーらの詩に親しみ、その情操は深く彼のその後を見ることが出来る。後に詩人としてよりも、人間の自由を歌い上げていく劇作家として世に出て行く下地があったように思われる。

14歳のとき、領主オイゲン公の下のカール学院に学んだ。当初法律を学んでいたが途中で医学に転じている。この学校は、封建領主の意に沿って、生活や学問的制約もきびしく、青春の自由で楽しくあるべき日々は全くなく暗い時代を過ごすこととなる。だがこんな学校生活にあってもゲーテやシェークスピア等を読みあさり詩や劇の創作をはじめている。後に劇作家(文筆家)としての基礎となる「群盗」(Die Räuber)をこの頃より書きはじめる。これは時の領主制度に対する挑戦的な内容で、自由への憧れがみなぎっているものであった。

1780年同学院を卒業し、そのまゝ見習軍医となったが、処女作「群盗」を翌年に自費出版、又マンハイム劇場にて同作が上演されて異常な反響を呼んでしまい、その後の生活が一変する。というのは作家としての地歩は出来たのであるが領主の怒りを買ってしまい捕われの身になってしまうのである。しかし文学への望みは強く、1782年故郷を脱出しマンハイム劇団を頼ったが、同団はオイゲン公への遠慮から彼を迎えようとはしなかった。だがシラーの文学に対する熱き思いは、食しさの中にあっても衰えず創作活動が続けていくのであった。

時の流れか、民衆の要求か、彼の作品が再びマンハイム劇場に上演される時が来た。政治的自由と巨人主義を表わした「フェイスコの反乱」、貴族政治の腐敗をついて階級の差別をこえた悲愴の自由を求めた「たくらみと恋」を発表、その地位を確立した。この後一時期また不遇な生活がくり返し訪れるのだが、友人ケルナー家(ドレスデン在)に身を寄せている時にこの讃歌「よろこびに寄す」を書き上げ、又思想劇「ドン・カルロス」により新しい世界観を求めているのである。この作品を仕上げた後、小説、評論にもその才能を発揮したが、45歳にマラリアで没している。

ベートーヴェンによりシラーのこの詩をもとにオ9交響曲が作曲されたのが1824年で、同年5月7日、もう全く耳の聴えなくなったベートーヴェンの横に立つウラウフ指揮で初演された。(M)

今夏のヨーロッパ音楽祭

〈ソプラノ・ピアノ伴奏〉中島 ゆい子

毎日暑い日が続いていますが「冷房はいい!!」などと云わずがんばって練習に出ましょう。今回は「夏のヨーロッパ音楽祭めぐり」と題して、私が聴いてきたプログラムを御紹介します。先ずは、世界最大のザルツブルグ音楽祭です。

ウィーンフィル定期演奏会

指揮：リッカルド・シャイー

曲目：モーツァルト「ピアノ協奏曲20番 K.466」ピアノ/アルフレッド・ブレンデル

ドヴォルザーク「交響曲オ5番、新世界より」Op.95

オペラ「カルメン」《ビゼー》(今年度の目玉です) 1874年作曲。

指揮：ヘルベルト・フォン・カラヤン 演奏：ウィーンフィルハーモニー管弦楽団

歌手：バルツァ、カレラス、ペリー、ダム他

オペラ「コシ・ファン・トゥッテ」(これ最高!!)《モーツァルト・K.588》

指揮：リッカルド・ムーティ 演奏：ウィーンフィルハーモニー管弦楽団 歌手：マーシャル・アンマレー、モーリス、アライザ他

シェーンブルン宮殿宮廷劇場において

オペレッタ「ウィーン気質」《ヨハン・シュトラウス(子)》Op.354

最後に世界中からワグネリアンと呼ばれるファンが集まるバイロイト音楽祭で

オペラ「タンホイザー」《リヒャルト・ワーグナー》1842~45年作曲

指揮：ジュゼッペ・シノーポリ 演奏：バイロイト音楽祭オーケストラ 歌手：ベルハール・ゾーティン、ブレンデル、スチエルダー他
(歌手のフルネームは略しました。)

以上です。オペラファンならずとも聴いてみたくなるようなキャストです。またの機会にぐわんばって詳しく書きます。名前がカタカナで読みずらくて申し訳ありませんでした。読みまちがいがありましたら教えて下さい。

オ6回草津夏期国際音楽アカデミーフェスティバルに行こう。

前号でお知らせしました草津国際音楽フェスティバルに参加される方は、自家用車の乗り合いで行きますので、下記要領により行動します。時刻は厳守して下さい。

8/25(日) AM 9:30 高崎駅東口集合・出発/入場料 ¥3,000-

お弁当・お菓子・飲み物 各自で。必ず持参。

高崎→三の倉→長野原→草津→白根(11:30昼食)→草津(天狗山14:00~16:30)→高崎(19:00)





Beethoven とは？

34 文壇のベートーヴェン



■ フェルツォ・フゾーニ

このような自由への希求が、ベートーヴェンというロマン主義の革命家を満ち、音楽を本来のもっと気高い性質に戻す小さな一歩を踏み出した。それはこの大いなる仕事の小さな一歩であり、己れの道を行く大きな一歩であった。

ベートーヴェンの個性に特有の特徴を挙げてみたいと思う。

それは——詩的な靈感、

強固な人間的知覚力(彼の革命的姿勢はこのことに由来している)、

また、近代の神経過敏を明らかに先取りしていること、などである。

こうした特質は全く「古典主義者」のそれとは正反対のものである。

加えていうならば、まさに彼の芸術が、

さらに偉大になるべき——それでもまだ完璧ではない——

芸術の指標となっているというそれだけの理由で、

ベートーヴェンはモーツァルトや故ワーグナー的な意味での「大家」ではないのである。(松本耿夫 訳)

ニュース原稿 募集!!



オ9ニュースは団員全体のもので、あなたが日頃考えていること何でも結構です。どしどし原稿をお寄せ下さい。字数400字程度。

明暗分けた 日航123便

絶望を乗り越えたベートーヴェン

真夏のギラギラした太陽、そよりともしない蒸し暑さの中で、突然の悪夢のようにあの日航123便の墜落事故が私たちの耳目を覆った。あれから既に2週間以上の日時が経った。私たちの団員のうちでも特に藤岡市方面にお住いの方も多く、被害に逢われた方はもちろん、御遺族をはじめ、この事件処理に当たられた地元の方々の御心労に対し心から御見舞申し上げる次第である。

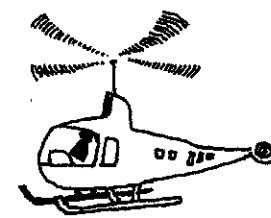
全くこの降って湧いた惨事は個人の注意不注意に関係なく、悪行機という乗物に乗ったが最後、自動的に運命共同体としてのタイムスペースを共有する人々に附随する絶体的条件の一つなのであろうか。航空会社の責任はともかく、乗客にとってはあまりにも不運としなないようもない。

しかし、このような不幸な出来事の中でこれ又奇跡としか云いようのない4人の生存者が居たことは大きな喜びでもあった。人生の明暗をこれ程大きく感じさせられたのも250名の命が一瞬にして失われた史上最悪の航空機事故だったからにほかならないだろう。

それにしてもあの恐怖の緊急事態の中で遺書をのこした人が6名も発見された。実際には機体と共に焼失してしまった遺書もあるに違いないと思うが、凡々の生活を送っている自分を省みると驚異を禁じ得ないと同時に深く感動したことでもあった。

こんな折りも折り、ベートーヴェンの「歓喜の合唱」などという、いさゝか不謹慎のそりをまねかれられないかもしれないがこれはその言葉尻だけを捉えた皮相的な見方と云うことが出来よう。それと云うのもベートーヴェンがこの曲を作曲した時は歓びの絶頂にあつたわけではなく、全くそれとは正反対の絶望の日々を送った筈のことであつたからである。思うにこの大作曲家が偉大な数多くの作品をこの原動力となったものは、恐らく彼の日常を支配する病気や貧困や苦しみといった状況の中から抜け出ようとする人間の生命に対する不屈な意志の表れだったのでないだろうか。そしてそれは音楽という表現方法によって私たち人類にのこされた大いなる遺産なのである。

オ9のオ1楽章は暗黒と絶望を表す主題と懷疑と不安をのせたモ4-7で始まり、オ2楽章ではこれらに対する人間の抵抗、つまりたたかいの音楽で埋められる。そしてオ3楽章では至福のエリージウム(楽園)がその片鱗をあらわす。オ4楽章は押し寄せる怒濤の勢いで困難に打ち克った喜びの讃歌となっているが目標に向かって打ち進むベートーヴェンの姿が見えるようだ。





メモ用の鉛筆忘れずに

大町レッスンの日程決まる!

9月19日、11月7日、12月5日の3回(何れも木曜日)

暑いあついと云っていた真夏も漸く終りを告げ、朝晩の空気の匂いが、(のび)寄る秋の気配を感じさせます。オ4合唱団の練習も予定通りの進み具合で、フガも過ぎコーダーの部分に入れば一通り終了することになります。そしてこれからは再び細部の詰めをこなして行くことと併行して、いろいろな実務を協力しながらやって行くこととなります。

このような中で、今年の指揮者大町陽一郎氏の指揮者レッスンの日程が次のように決定しました。オ1回目は9月19日(木)で例年に比較すると幾分早目の感じですが、ななく指揮者の指示を適確に把握した練習を多くしたい為にお願したものです。従ってこの日までには最底150人位の団員の参加が必要となりますので、昨年々ー昨年に歌った仲間には呼びかけ、少しでも多くの人達が集まるよう皆さんの積極的なアプローチをお願いします。

又、オ2回目の指揮者レッスンは11月7日に、オ3回目は12月5日(それぞれ木曜日)に予定されています。特に大町陽一郎氏の夫人はドイツ人なので、恐らくドイツ語の発音については今まで以上に厳しい注文が予想されますので書き込み用の鉛筆などは忘れずに各自ご用意下さい。

■ シューマン

浮っ調子の世間人で、

鼻の先にヴェルテルの悩みをぶら下げて、その辺にのさばっている連中――

悲しめしきった大法螺吹きの子――

こんな連中が彼を愛せようと思ったり、それ所か彼を賞める気を起すなんて――

(吉田秀和訳)

※ 彼――とはもちろんベートーヴェンのこと。

第2回運営委員会から

指揮レッスンまでに団員増加と出席率の向上を

チケットは昨年並み、一般3,000円 高校生以下2,000円

8月31日(土)PM6:30よりオ2回運営委員会が開かれました。この運営委員会では今年の演奏会の入場料金問題や実務的な事項、更に来年の演奏会日程などの検討が行われました。

先ず入場料金については5月総会において提案された昨年並みの料金体制で据置くことに決定しましたが、群響ギヤラは昨年に比べ20%アップとなっております。チケットの販売は昨年を上回る努力が必要とされました。この結果採算点としては1500~1600枚が予想されます。現団員数で単純計算すると1人当り15枚程の消化を行わなければなりません。これは非常に大変なことです。そこで9月19日の指揮者レッスンまでの間に以前団員だった人達を対象に入団キャンペーンを行うこととしました。涼しくなったら出掛けますよ、と云っている人も沢山居るので、電話などで是非呼びかけて下さい。

又、チケットの検討では「家族券」のようなものもどうかという提案もありましたが、現状では事務処理が複雑になることや、幼児が多くなって演奏会に支障を来さないかなど種々な問題を内包しているので、今回は従来通りということに決まりました。しかし、これらの問題は今後の課題として検討を続けて行きたいと思えます。

実務上の問題についてはポスター、チケット、当日のプログラム印刷などのほか、これらの配布、更には当日の会場整理のお手伝い、ステージマネ、放送などの裏方さんやレセプション準備といった様々な仕事は山積していますが、何れも事務局サイドで計画を樹て、団員の協力によって、創造的な演奏会を作りあげることになりました。

来年の演奏会日程についてはオーケストラとの関係もあり、12月14日(日)と決定しました。招へいする指揮者についても話題にのぼりましたが、何れも著名人については先方の日程との折合いもあることなので、団員の希望意見があれば接衝してみようということでした。団員の皆さんのご要望がありましたら遠慮なく事務局へお申し出下さい。



ナツノオモイデヲ オヨセクダサイ

暑さ負けをしたせいではないでしょうが、このところ「暑気のひろば」への投稿がパツパツと絶えています。編集者としてもこのニュースを自分の趣味として発行しているわけではないので、団員諸君の原稿が無い時が一番つらく切なく感じるのです。

夏休みもとうとう終わりました。息抜きにあちこち遊びに出掛けた方も多いと思いますので、是非「夏の思い出」などお寄せ下さい。



炎の如く燃えろ わがオ9!

大町レッスン(9月19日)に向って

1人が3人へ 電話作戦で団員増へ

今年最初の指揮者レッスンが9月19日に行われます。例年ですと10月に入ってから——ということが多いのですが、少しでも早く新しい指揮者の指導を頂いて、より良いオ9を創り上げたいと考え、早目のレッスンが企画されたわけです。

いつもなら10月に入り涼風がたってから、と思っているベテラン達や、経験のある団員も悠長に構えているせいか、練習に集る人数が今ひとつパツ!としません。そこで大町レッスンまでの間(僅か1週間ですが)に団員の皆さん協力のもと、電話作戦によるPR活動を進めることにしました。電話をかける相手は事務局で割り振りますが特に親しい方が居りましたなら積極的に呼びかけて下さい。

現在の団員数は恰度100名ですが、今年の総会では200名を目標にオ9の合唱運動を進めることが決定されています。過去11年間の歩みの中では1,000人を超えるオ9経験者がいるのです。これらの人々を今一度掘り起し、ベートーヴェンが終生音楽に寄せた情熱を1人でも多くの仲間たちと共に燃やし盡くそうではありませんか。炎のように燃えろ! 喜びにあふれる わがオ9の合唱のために!

■ ヤニス・クセナキス

(松本 耿夫 訳)

ヨハン・セバスティアン・バッハの後に、さらに一つの頂点がある。
ベートーヴェンである。

彼は音楽に信じ難いほどの知性を注入し、
その音楽は今日でも我々を驚嘆させる……。

今日の音楽学の方法ではベートーヴェンの作品を正當に扱うことはできず、

また人文学というより広い視野からも、

ベートーヴェンの音楽を「古典主義」と「ロマン主義」の結び目として見ることは不可能である。

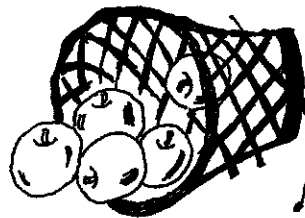
「古典主義」と「ロマン主義」の結び目には、

それ自体のうちに「直感」を含む、あのより高度な「感覚」が集中しているのである。

歌のひろば

うとうとと 草津アカデミー&ドライブ

〈バス〉有阪 保彦



残暑の中12人の善男善女が高崎駅東口を予定より少し遅れて出発。のんびりドライブも、岩櫃山、吾妻溪谷、車窓の景色をながめながらのオシマベリで早々草津に到着。予定を変更すぐお昼、全員カレーライス。風が出て雨が降りそうな空模様。もう入場者の列ができ、食休みもほどほどに

私達も列の中へ。

さあ劇場、先発の萩原女史?(嬢)によい席を確保していただき苦なく着席。スキーシーズンの大食堂はすっかりコンサート会場に变身。天井には純白の音響板、仮設ステージでは大きな外人演奏家が、いっそう大きく見えました。コンサート内容は……運転が私の私には子守歌に聞こえてしまいました。

コンサートの興奮さめやらず、記念写真やサインねだりでにぎやかな会場入口で私達もヘフリガー氏と記念写真。帰途につく頃は肉古鳥が鳴き始める頃となりました。

ピアノと歌の好きな私

〈ソプラノ〉仁藤 恭子

今年の春、共愛学園英語科に入学した仁藤恭子(にとう きょうこ)です。

私は、幼稚園に入園したとき(4才)からピアノを習っていますが、習い始めた動機は幼稚園の先生が、毎日ピアノを弾いているのを見て、「私もあんなふうには弾けたらなあ。」と子供心に思い、先生につきましました。それ以来ずっとピアノの魅力にひかれ、習い続けています。

共愛学園に入ってから、聖歌隊に入り、うたう喜びを知りました。ある日、オ9の団員募集を知り、混声合唱の楽しさを味わってみようと思い、7月から入団しました。今では、毎回難しいドイツ語に挑戦しながら、楽しく歌っています。

熱心に指導して下さいる先生方のパワーに負けないようにがんばりたいと思います。

団員の皆さま、よろしくお願いいたします。

※ 非常に几帳面で、しかもとても美しい字の原稿を頂戴しました。当団には新島学園聖歌隊もいます。がんばりましょうネ。



高崎第9

1985・9・19・

no. 16

高崎市弓町74番地 上野道昭方 高崎第9合唱団

Durch Leiden Freude!

贝多芬

BEETHOVEN
SYMPHONY No. 9



ベートーヴェンと共に

■ フランツ・グリルパルツァー

ひとりの男 慌しく歩みゆく—
されば 影もむろんまたともに歩む—
教を授け 野を往き 畑を渡る
ひたすら前にむかい 努め行く
往かんとする気を 河が妨げようとすれど
流れにわけ入り 水をわかちて進み
彼岸につきて これを登る
やむにやまれぬ歩みをさらに続け
ついに 断崖に到るや
怖ろしき隔りもものは 身がまえて
跳躍一閃—見よ 傷も受けずに
深淵を跳び超えおえぬ
他者には難儀なるも 彼にはひとつの動き
勝利を得し者としては 目的の地にあり
されど過ぎにし跡は 余人のための途にはあらず
この男を知りて ベートーヴェンを想う

(深田 甫 訳)



4th でかんしゃ合唱団 指揮 長島好江

FAMILY CONCERT ¥500-

10月12日(土) PM6:30~
高崎市文化会館大ホール



今年もよろしくね!

今年のサ9コンダクター

大町陽一郎氏の歩み

1931年東京生れ。成城学園より東京芸大作曲科に進み1954年卒業。在学中、渡辺暁雄氏、クルト・ヴェス氏に指揮法を学ぶ。同年デビュー演奏会開催後、ウィーン国立アカデミーに留学し、H. スワロフスキー教授のもとで指揮法を学ぶ。

1956年指揮科を卒業後はカール・ベーム、ヘルベルト・フォン・カラヤン、フランコ・フェラーラなどに師事し、'60年に日本フルを指揮して帰国演奏会を開き成功をおさめた。'61年より10年間東京フルの常任指揮者としてその黄金時代を築く。

シンフォニー指揮者として日本の代表的オーケストラに客演する一方、オペラ指揮者としても二期会や藤原オペラなどで、オペラやオペレッタの指揮も数多く行なう。'68年からは西独ドルトムント市立歌劇場の専属指揮者として、オペラ、オペレッタ、バレエ、ミュージカルの公演に従事し貴重な体験を積む。今までに指揮した外国の主要なオーケストラはベルリンフル、ウィーン響、ハンブルグ放送響、ベルギー国立放送管、メキシコ国立響、ドレスデンフル、クリーヴランド管弦楽団等。またオペラ指揮者としてはベルリン国立歌劇場、フラーハスメタ国立歌劇場、西独マンハイム国立歌劇場、ブラチスラヴァ国立歌劇場に客演。1980年2月には日本人で初めてウィーン国立歌劇場に登場し、プッチーニ「蝶々夫人」で絶賛を博しており、シンフォニーとオペラの両方で活躍している国際的指揮者。

レコードは東京フル、都響、ウィーン国立管弦楽団によるものが多数あり、著書には「クラシック音楽へのすすめ」(講談社)、「楽譜の余白にちよっと」(新潮社)がある。現在 東京芸大オペラ科助教授。1982年9月から2ヶ年契約でウィーン国立歌劇場の専属指揮者となり、沢山のオペラ、バレエを手がけた。



ウィーンで集う第九

世界平和愛のチャリティ・コンサート

コンサート

1985・11・30(土)~12・7(土) 8日間 ¥259,000.

募集人員 250名 12月4日 日本人参加者によるチャリティ・コンサートです。

場所はウィーン ムジークフェライン(楽友協会大ホール) 指揮 クルト・ラップ 合唱指揮 村谷達也
ラインラント・ファルツ国立フルハーモニー 希望者は9月中に事務局までお申出下さい。



コーラスは人と人との結びつき

何でもないことをさりと言つてのける大町語録

褒められて ほめられて ぐわんばらなくっちゃ!

先週才16回目の練習一大町レッスンは如何でしたか。今まで経験した指揮と違って冒頭のお話が何とも楽しく感じられたと思います。

ワーグナーの娘婿であるリストを引き合いに、私たちの練習場がアイテナハにあるワルトブルグの城に匹敵するような錯覚を起させぬ音響の良さや、心と心の結びつきがコーラスのすべてと云われたあとで、わが才9合唱団の熱意の素晴らしさ、阿部先生をはじめとする合唱指導の先生方の指導の正確さ、そしてこれだけ早い仕上りは、夏の暑さにもめげず一生懸命練習した団員の努力(いさゝか耳の痛い向きもありますが)などなど、ほめてほめてその気にさせてしまうところはさすが大指揮者です。

でも人口1万3千800人の十勝市(北海道)には200人の才9合唱の団員がいる、と聞かされ驚かされると共に、23万都市の高崎才9がこんな人数でよいのかと反省させられたことも事実です。練習は折り返し点を少し過ぎましたが、経験者の振り起しを中心に、本番までに団員数を増やすよう「一声電話」運動を積極的に進めましょう。

大町先生の指摘された事項については各自メモを取って頂いたと思いますが、特に注意するところを長島先生にまとめて頂きましたので次ページをご参照下さい。これから先は本番に向かってこまかい部分の練習に入りますので休まず、遅れずにお出掛け下さい。

第9合唱、15年目はドイツへ行つて歌おう。

来年度から具体的準備、日程、渡航費の積立など

高崎才9合唱団はいつも夢を持っています。「N響と歌おう」も10年目に実現しました。私たちのピアノを、12年目の今年、グランドピアノを買うことが出来ました。地方の音楽文化活動では、その運動の目標を達成するのは仲々困難ですが、私たちの合唱団は着実にその夢を実現して来ました。その第3弾の夢が「ドイツへ行つて才9を歌おう」だったので、この夢がだんだん近づいてきます。1988年秋、みんなでドイツへ行けるよう協力しましょう。

OHMACHI
LESSONから

こゝを ご注意!

<アルト> 長島好江 の練習メモより

P.9 Freu-de! は fr を 拍の前に出して発音。1拍目が オイ です。

P.10 D Dei ne Zau-ber... テノールの Dei は音が高いけれど決して強くしない。
 { streng ge-theilt... str は 拍の前に出して発音する。
 ge は 強拍ではありません。theilt の方が強い。

al-le Men-schen... の alle は シンコペーションの強拍です。もっと強く!
 Flü-gel weit... の wei アイは、口を大きくあいたアでのばす。

P.13 E ni ge-konnt ni は強い否定です。sf (スフォルツァンド) がついています。強く!

P.17 G アルトの steht は 前の Gott の次にしかり、息づきをして強拍で歌う。
 最後の vor Gott では十分に息をすってから歌って下さい。指揮をよく見て、ott
 で切る時 声を出しきってエネルギーにすった息を全部はき出す感じで歌って下さい。

P.20 男声合唱 Brü-der, の Br は 拍の前に出して発音する。
 Held-zum Sie-gen! は Sie にアクセント

P.25 M Freu-de, F は くちびるをかんで はれつ音。Fr を 拍の前に出して発音する。
 75 オイ は あかなく。

M (P.25~28) には、sf が 5 っ、ff が 2 っあります。

{ sf... Elysium, feuer, Heilig- Brädel が 24 所 }
 { ff... alle が 24 所 }

どこについているか、しっかり覚えて暗譜すること! もう一度譜面のみなおしを……!

P.28 男声 Seid の ai を合わせる。アからイの母音に移るタイミングをそろえる。

P.31 Ihr の イ は イー... 指揮をよく見て
 Ah-nest du den Schöpfer, は 聞いかけです。in テンポではないので指揮を
 よく見て歌って下さい。テンポが動きます。

Woh-nen の sf は しっかりアクセントをつけて、woh

P.34 フーが
 $\frac{6}{4}$ のリズム ♩ の拍が ころばないように練習して下さい。

P.46 からは、テンポをつかめるようにと流しましたが P.47 から P.48 にかけての
 alle Menchen の Me のディミヌエンドの仕方、曲の最後の fun-ken! の
 歌い方などに注文が出ていました。次回のレッスンでしっかり勉強しましょう。

※ 大町陽一郎先生から; アルトの一番うしろの若い人2人が全然口があいていなかったが多分初心者と思われるので是非落ちこぼれないよう頑張ってくださいとメッセージがありました。(編集部)

高崎第9

1985・10・3・

No. 18

高崎市弓町74番地 上野道昭方 高崎第9合唱団

Durch Leiden Freude!

WCTW

BEETHOVEN
SYMPHONY No.



Seit
umschlungen
Millionen!



■ カールハインツ・シュトックハウゼン

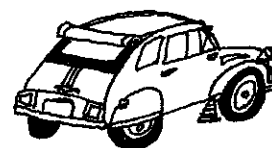
彼の音楽全体を(たんにその『主題』だけでなく)直接的な楽曲展開の裏
板として用いるというのはいかにベートーヴェンの精神——それは時間をこえて普
遍的な精神ですが——に属します。そしてその展開部においては部分だけでは
なく、個々の音やうねりまでもが、それらの鳴りひびくそのモメント(瞬間)にお
いて自発的に『展開』されます。ですから、この音楽は孤立したものでも、死んだ
ものでもなくて、発生し、生き生きとしたものなのです。つまり、新しく未知なるも
のへの直接的な起動なのです。(西原 稔 訳)

合唱団 コール・パーク 第25回 定期演奏会

■ 1985・10・26・6:30 PM

■ 高崎文化会館大ホール ■ ¥700

指揮/阿部 延・阿部 真
ピアノ/守屋直子・西沢宣子



ドライブ & ハイク 田代湿原

10月13日(日) 高崎駅東口集合!

出発時刻は AM 9:30

早く来ないと いっちゃうよー

9月半ばから停滞している秋雨前線ですが、10月も中旬になれば夾やかな秋
空が期待できるのではないかと、「9月のハイキング」を計画しました。関越自
動車道も全面開通となりますので高前インターから水上インターまでの初乗りも兼ね、
秋色を楽しみながら、尾瀬ヶ原は田代湿原の散歩と酒落こみます。歩く時間は
片道1時間程の予定で若い人から高齢者の方まで無理のないコースを選んでいきます。

大自然の中でイオンがいつはいいの美味しい空気と、一味違ったおむすびのうまさ、いつもより
歌う声まで伸びやかに感じられること、100パーセント保証します。参加される方は今
すぐ〈バス〉田島・有坂までお申込み下さい。

出発 高崎駅東口 9:30 → 水上 IC 10:30 → 武蔵自然休養林入口 11:20

→ (徒歩) 田代湿原 12:20 → 14:00 出発 (徒歩) 入口 14:50 → 水上 IC

15:40 → 高崎駅東口着 16:50 → 自由解散 (雨天の時はコースを変更します。)

※ 申し込みは 10月10日(木) 次回のレッスン日まで

今年のソリスト紹介 (1)

ソプラノ 曾我 榮子 (とが・おけこ)

国立音楽大学卒業。同専攻科修了。田中伸枝に師事。

1965年に「魔笛」(モーツァルト)のハミーナ、「フィガロの結婚」(モーツ
ァルト)の伯爵夫人を歌って認められた。

以後「パルシファル」の花の乙女、「ラインの黄金」のフライア、「ワル
キューレ」のブリュンヒルデ、「タンホイザー」のエリザベート(何れもワ
グナー)、「魔弾の射手」(ウェーバー)のアーテ等を次々に歌い
プリマドンナの地位を築いた。その間、ドイツ歌曲の勉強にも余念がなく、その結果をリ
サイタルで発表している他、N響をはじめ各主要オーケストラとの協演で宗教曲、オラトリオなどの
ソロを歌いこの分野でも不可分の存在となっている。

近年では'78年に「ドン・ジョバンニ」(モーツァルト)のドン・アナ、「ファウスト」(グーテ)のマルガレーテ、'79
年に「ローエングリン」(ワグナー)のエルザ、「夕鶴」(田代百合子)のつう、'81年に「ニュルンベルクのマ
イスタージンガー」(ワグナー)のエウア、'82年には「ドン・ジョバンニ」のドン・アナで名演を示し、又、'80年
6月には日生劇場で第4回のリサイタルをR.シュトラウスの歌曲で行い好評を得ている。二期会会員。





本番まであと10回の練習

そろそろ心の準備を!

ベートーヴェンの無限の歓びを求めて...

今年の本番までに残る練習回数は全体の1/3、僅か10回を余すのみとなってきました。今までは練習に来て歌って、お茶でも飲んで……それでよかったのですがこれから本番後までがオ9合唱団の最も忙しい時期に当って、俗に云う猫の手も借りたい季節なのです。秋は一年のうちでもいろいろな行事が集中して、あれもこれもと忙しさが倍加すると思われませんが、合唱団の活動にも積極的な協力をお願いします。

演奏会

までに事務局を中心にして様々な作業が行われますが、具体的には ①ポスター張り ②チケット売り ③演奏会当日のお手伝い(接待、受付、放送、ステージマネ、看護) ④レセプション準備などです。もちろんこれと並行してチラシ配布による宣伝や指揮者、ソリスト、オーケストラとの連絡調整、ゲネプロの打ち合せ、精算事務等息もつかせぬ位沢山の仕事があります。従ってこの仕事をスムーズに運



チケット売りはロコミで...

ぶためには事務局だけではとても手が足りません。文字通りアーレメンシェンの心意気ですべての団員の総力が必要となる訳です。知恵をいぼり、汗を流し、力をつくし切ったその後に訪れる歓び、これこそがベートーヴェンの表現している「歓びの讃歌」なのではないでしょうか。

歌に活動に

わがオ9合唱団の持てるものフルに力らかせましょう。そしてこのパワーを持続させることが私たちの夢を世界に飛躍させる源泉になることは確実です。すでにその意志は3年後のオ15回演奏会を焦点として捉え、「高崎オ9合唱団」がドイツで歌うことをターゲットとして、国際文化交流のアプローチを開始しました。その意味からも目の演奏会を成功に導くよう一人一人が努力しましょう。

今年のソリスト紹介 (2)

メゾ・ソプラノ 伊原直子 (いはら なおこ)



東京芸術大学卒業。同大学院修了。戸田敏子、中山陽一に師事。1967年、安宅賞を受賞。

1969年、ワーグナーの「ラインの黄金」のエルダでオペラにデビュー。続いて「カルメン」のタイトル・ロールで好演。N響、日フィル、読響その他主要オーケストラと協演し、コンサートの分野でも高い評価を得る。

1970年、芸術選奨文部大臣新人賞及びM.B.C.A.丁賞を受賞。1971年、西独政府給費留学生としてミュンヘン音楽大学に留学し、E.ヘフリガーに師事。傍らベルリン歌劇場、ドイツ、スイス各地でオラトリオを歌う。

1975年、フランスのラインオペラ(ストラスブール歌劇場)と専属契約を結び、「カルメン」、「オルフォイス」、「ジークフリート」、その他を歌い、ザルツブルグ、ヘルツェン音楽祭、ルクセンブルク、西独でも「ポリス・ゴドウノフ」、「カルメン」を歌う。またコンサートでも「復活」や「マタイ受難曲」等、数多くを歌っている。

1980年、二期会オペラ「カルメン」(小沢征爾指揮)のタイトル・ロール、A.エレーデ指揮の「トロワ・レ」のアズチーナを歌い、オ8回ウィーン・ワールト・オペラ賞大賞を受賞。その後もフランス、ベルギーで活躍し、1981年に帰国。1982年には「アイダ」のアンネリスを演じている。

レコードもエラート、バークレイ、キングの各社からバッハのカンタータ、「ヘンゼルとグレーテル」、「中田喜直歌曲集」などを出している。二期会会員。

オ9合唱

秋のドライブ
と
軽城ハイキング

日時 '85・10・13 (日)
AM9:30出発 PM4:50帰着
集合場所 高崎駅東口前広場
行先 尾瀬田代温泉
申込 (バス) 田島・有限まで
×切 本日の練習終了時

次の大町レッスンは11月7日です。

オ2回目の指揮者レッスンは11月7日(木)です。大町先生も言っておられる通り練習会場の響きが良いので本番の時は今の条件と大分変わると予想されます。人数のバランスも少々女性に片寄っていますので、次回のレッスンまでには休眠中の団員に呼びかけ1人でも多くの男性を確保しましょう。

歌のひろば

が暫くお休みしていますが、この欄は団員の投稿欄です。思索の秋、何でも結構ですからご寄稿下さい。送稿先は 〒370 高崎市飯塚町1265-19 田中清巳宛 (62-0278)



本日よりチケット配布

消化目標 1500枚

協力一致でこの壁を乗り越えよう

愈々オ12回演奏会が2ヶ月後に迫って来ました。いつものことながら、最後の難曲が待ち構えています。それがチケット売りです。これは私たちの組織を維持するための財政基盤を確立するもっとも重要なことであり、この基盤が崩れた時は、地方の音楽文化など何処かへ消し飛んでしまうでしょう。私たちのオ9が、ただ歌えさえすればそれで良いという自己の欲望を満足させるだけの団体でないことは皆さんがよく御存じのとおりです。

そして今や高崎オ9合唱団の存在は社会的にも音楽文化の発展向上にも、大きな役割を果たすところまで成長して来ました。従ってその責任も益々重くなっていることを自覚しなければなりません。

私たちの合唱団にはスポンサーもいなければパトロンも自治体からの文化助成金すらありません。然しそういった環境の中で進められる自主独立の精神が私たちの活動や音楽の内容を豊かに充実させてくれる原動力になっているのだとも云えましょう。そうした意味で、楽聖ベートーヴェンの「苦悩を突き抜けて歓喜に至る」プロセスを私たちは毎年感じとれる機会に恵まれていると云うことが出来ます。今年は昨年と比べ団員数が若干少ないので、目標の1500枚達成には1人15枚程度の消化が必要になりますが、団員の一致協力、今年の演奏会も大成功に導くよう頑張りましょう。

子供を愛する親たち集まれ!

田中澄江先生が講演

'85・11・10 (日) PM 1:00~2:30

高崎カトリック教会・天使の家ホール TEL 22-6243

入場整理券 ¥300 (全額上毛新聞「愛の募金箱」へ寄附)



今年のソリスト紹介(3)

バリトン 池田直樹 (いけだ・なおき)



東京芸術大学卒業。同大学院修了。小島琢磨、中山陽一に師事。1972年、芸大メサイアのソリストとしてデビュー。翌73年皇居に於ける御前演奏に出演。

1975年、オ10回民音コンクールオ2位入賞。オペラでは'77年「フィデリオ」のドン・フェルナンドをはじめ、「魔笛」の年者、'78年「ファウスト」のワーグナー、'79年は「ローエングリン」のハインリッヒ1世、「フィガロの結婚」のフィガロなどの大役を次

から次に演じ注目され、1979年度ウィンナ・ワールドオペラ賞(現ジロー・オペラ賞)受賞。

また、やわらかく深みのある声でコンサートへの進出も目覚ましく、ブルックナーやドボルザークの「テ・デウム」、ヘンデルの「メサイア」、ベートーヴェンの「交響曲オ9番」等を歌っている。

1980年10月より文化庁派遣芸術家在外研修員としてミュンヘンに留学し、1981年10月に帰国した。その後は12月の各地での「オ9」、1982年1月の「ドン・ジョバンニ」のレポレロ、「アイダ」のエジプト王などで進境の著るしさを示している。二期会会員。

歌って身近になったベートーヴェン

〈アルト〉 中村 美佐

今年新しく入団いたしました、アルトの中村美佐です。現在大学院の2年生で、週に3日高崎から都内まで電車通学しております。いままで、長時間電車にゆられるばかりの単調な生活を送って来たため、ひそかに老いなしのび寄り始めたようなのですが、オ9に参加してからは元気がモリモリ出て来ました。

母が音楽に携わっているため、私も以前から数回オ9を聞かせていただきました。そのたびに深く感動して、来年こそは私も歌いたい、と思いながら授業の都合上どうしても参加できず、今回やっと願いがかなったというわけです。それまでベートーヴェンに対しては近寄り難いものを感じていたのに、この頃は身近な存在にさえ思えるので、不思議です。

ドイツ語は初めてで、その発音の難しさには驚いておりますが、先生方の熱心な御指導のおかげでようやく歌えるようになり、ほっとしております。これから精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。



歌のひろば



日曜返上でポスター貼り

第9を支える地道な活動

助け合いの精神で GO!GO!

去る10月20日(日)午前9時より今年の演奏会のポスター貼りが行われました。既にチラシは音楽センターや文化会館の催物の度に配布していますが、この日のポスター掲示によって、より多くの人々の目に触れることになり、チケット販売の前哨戦の火が切れて落とされました。

午前9時高崎駅東口前に集合した男性4名、女性4名の計8名が2班に分かれ正午までの3時間で、およそ200枚のポスターを貼って下さいました。もう団員の皆さんの多くの方々が目にしたことと思います。こうした地道な活動こそが私たちの第9合唱団を支える原動力になっているのです。一人でも多くの団員がこういった活動に参加して頂き私たち手創りの音楽会がどんなものなのかといった理解に役立たせて下さい。オ9を歌うという醍醐味はこれらの活動を至り、初めてその真髄に到達出来るような気がします。人任せではなく積極的にこれらの実務にご協力下さい。

又、22日にはチケット配布のための仕分け作業が行われました。今年は精算し易いように封筒も大きく表面に精算欄を印刷しましたので、事務能率もグーンとアップするのではないかと期待されます。何れにしてもすべて団員がやることであり、仕事の合間を縫ってやらなければならない事なので、多少の遺漏もあるかと思いますが、お互いに助け合ってスムーズに事務処理が進むようお願いいたします。

次の大町レッスン

11月7日です。

演奏会当日のお手伝い募集

オ9合唱団では演奏会当日の受付、モギリ接待、放送、レセプション準備などのお手伝いを募集しています。ご家族などご協力下さる方が居ましたら事務局へお申込下さい。

今年のソリスト紹介(4)

テノール 下野 昇 (しもの・のぼる)



東京芸術大学卒業。同専攻科修了。長坂好子、渡辺高之助、中山裕一に師事。

1962年の「道化師」(レオンカヴァッロ)のベツペをはじめ「椿姫」(ヴェルディ)のアルフレッド、「タンホイザー」(ワーグナー)のタイトル・ロールなどを演じ実績を重ねた上で1966年に渡独、ウィーン音楽大学でアントン・デルモータ、ハインリッヒ・シュミットに師事。

1967年ソフィア(ブルガリア)の国際コンクールでブルガリア作曲家賞を受賞し、1968年に帰国。

その後、「蝶々夫人」(フッチーニ)のピンカートン、「トスカ」(フッチーニ)のカヴァラドッシ、「ラインの黄金」(ワーグナー)のフロー、「カルメン」(ビゼー)のホセ等を歌うほか、「メサイア」(ヘンデル)、「交響曲オ9番」(ベートーヴェン)などのソリストとして活躍。

1972年に再びドイツ、オーストリーに留学。帰国後は「ホエーム」(フッチーニ)のロドルフォ、「蒼き狼」(高田三郎)のベクテル、「さまよえるオランダ人」(ワーグナー)のエリック、「ボリス・ゴドゥノフ」(ムソルグスキー)のグレゴリー、「フィデリオ」(ベートーヴェン)のフロレスタン、「タンホイザー」(ワーグナー)のタイトル・ロール、「魔笛」(モーツァルト)の武士など多くのオペラに出演するかたわら、1973年の「毎日ソリスト」のリサイタルやその他のコンサートで特異な活動を行っている。二期会会員。



終盤は 集中力で !!

<バス> 磯田 豊彦

生れつき集中力が欠けているのか、練習中にも「天井から吊ってある電球を双方近づけたら果たしてどのあたりでぶつかるのだろうか」とか、「しかし、いくら天井を高く造ってもこれではバレー大会ができない。」などと考えているうちに、フーガの出だしに遅れたりする。

それにしても、卒論の構成がなかなか決まらないまま、就取のため東京へ行ったり来たりしているうちに秋ももう半ばだという。やっぱり、そろそろ集中してやらなくては。さて、今年に入ってから、オ9のレコードを聴く回数がめっきり増えたのは言うまでもない。最近では、ベースだけじっくり聴いたりとか、(今年入団したから)アルトだけとか方向を変えて楽しんだりしてます。ところが私の一番好きなのが、なんと3楽章だそうです。特に91小節目からのFlのdolce ばっかり何度も聴くのが飽きないので困っている。

高崎第9

1985・10・31・

No. 22

高崎市弓町74番地 上野道昭方 高崎第9合唱団

Durch Leiden Freude!

贝多芬

BEETHOVEN
SYMPHONY No. 9



■ ヴィルヘルム・フルトヴェングラー

嵐と雷雨の神とも呼ばれるこの人が、同時に、いとも深奥にて幸多き静寂、底知れぬ敬虔、かつて音で表現された最も無邪気で喜悅にみちた調和の創造者であったというだけではない。嵐のただなか、激烈、その上ない衝動のうちにすら、なんとというゆるぎなき静寂と澄明さ、また一切の素戔をすみずみまで支配し、开成しようとするいかに強固な意志がうかがわれることか。なんとという比類なき自己陶冶であろうか。いまだかつて芸術家にして、絶体的なものへのかくも激しい衝動を持ち合わせながら、「法則」というものを彼ほど深く体験した人はいない。いまだかつて芸術家が法則にかくもいさぎよく、かくも謙虚に服従したためしはない。（芦津丈夫訳）

足利才9に応援を！

12月8日(日)が本番

足利市民合唱団から今年も応援出演の依頼がありました。男声中心でアルトは除きます。

高崎本番の1週間前の演奏会でチケット売りや仕事の調整で忙しい時ですが是非御協力下さい。

日時 1985年12月8日(日) PM 3:00 開演
会場 足利市民会館 (両毛線足利駅徒歩10分)
演奏 指揮 井上道義 群馬交響楽団
合唱 足利市民合唱団
服装 高崎と同じ
当日 なるべく列車利用。ゲネプロが12時なので高崎発10:12 ⑤両毛線小山行へ乗車下さい。

指揮者レッスン 11月22日(金)、12月6日(金) 足利市民会館
参加申込みは〈ソプラノ〉 茂木まで (02746-2-0859)

日音譜

どうたえますか？

もう演奏会まで1ヶ月半になってはいました。初めて才9に取り組んだ方は非常に大変だと思いますが、本番はすべて楽譜なしの暗譜です。又普段練習しているピアノの伴奏とオーケストラの伴奏では全く感じが違いますので、才4楽章は出来るだけレコードやテープを聴いて良く楽想を覚えるように努力して下さい。

次の練習日の11月7日は

大町レッスンです。

前回注意されたところを今一度反復し、練習時刻に遅れぬ様にしましょう。

貴重な体験“武尊田代湿原”

〈テノール〉 吉井秀明

10月13日(日)、今年2回目のハイキングが実施されました。場所は武尊自然休養林の中にある田代湿原。参加人数は当日集合すべて7人。ちょっぴりさびしい感じですが一行は元氣よく集合場所の高崎駅をあとにしたのでありました。小生は今年から入団し、練習日以外の行事には初めての参加であり、山歩きも久しぶりのことなので、多少の興奮を覚えながら一行に加わったのであります。

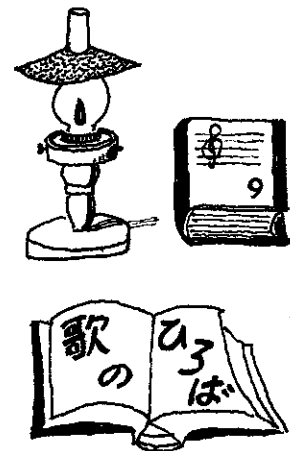
車2台は、さっそく開通したての奥越自動車道を通り走り、一路目的地を目指しました。行楽シーズンと新しもの好きが集まるということで奥越道は大変なにぎわいでした。出発が遅れ、沼田インターを降りて先へ進んでいるうちにもうお昼近くになってしまい、「早くお弁当食べよう。」とだだをこねるお嬢様も現れましたが、運転手はただ、山道をひた走っていきました。しかし、山はちょうど紅葉が盛りで、たいへんきれいで印象的でした。

登山道入口の駐車場へ着いた時はもう1時を少しまわっており、さっそくお弁当タイムとなりました。7人輪になってお湯を沸かしてカップラーメンを食べたり、お弁当を分け合ったりして、楽しい食卓になりました。それに隣りの団体が、みそ汁とホルモン焼を分けてくれ、寒さを感じるこの高原では、それはそれはおいしいものでした。

お弁当タイムが終ると「このまゝ帰ろうか。」という声も聞かれましたが一同奮起して、登山道へと足を踏み入れたのです。一般向けの登山道で登り50分、下り30分ということでしたが、2つの小川をとび石で渡るのはスリルがありました。行楽シーズンなのですが、マイナーなコースだったのか、登山道を行くのは他に誰もいませんでしたが、全員山歩きを楽しむ人、新鮮な空気を喉を通して胸いつぱいに吸い込み、のどもうるおうことができました。多少は声が良くなり今後の活動にも良い影響があるのではと変な期待もしながら。

全員無事下山し車で帰途に着いた頃から雨がひどくなり、あと少し遅かったら、ずぶ濡れになるところでした。グッドタイミングと同時に泥道を走って汚れた車がきれいになりラッキーでした。帰りは水上インターから奥越道にのり戻って来ましたが、さすがに高速道路、あっという間に高崎へ着いてしまいました。喫茶店でガソリン代やらの精算をして、こころよい疲れを感じながら解散となりました。

できたらもっと多くのメンバーが参加できればもっと楽しかったのではないかと思います。指揮の大町陽一郎先生もおっしゃっていましたが、コーラスは全員の心がひとつになることが大事だと。そのためにはこんな企画に多くの方が参加して一緒にひとつのことを体験することが近道なのではないかと思います。





今日、2回目の大町レッスン

sf, ff などのアクセントをしっかりと

練習時刻に遅れぬよう…

季節もだんだん身の引締まるような寒さを覚えさせるようになってきました。オ9の演奏会もいや応なしに近ずいて、チケット売りや、譜読み(暗譜)ばかりではなく、生活の方もそろそろ正月仕度などと考え出せば おちおちしてられない季節でもあります。でも余りあわてないで下さい。そんな時こそ今一度、自分自身の身辺をゆったり眺め廻す程の心の余裕が欲しいものです。

今日はオ2回目の指揮者レッスンですが 前回の時に指示された注意事項をよく憶いおこして歌いましょう。楽譜に書き込みなどをする場合は その都度 色の変った筆記具を用いると、1回目の時、2回目の…… というように一目瞭然と指揮者の云ったことが楽しく理解できるようになります。是非共お試し下さい。

sf, ff. などのアクセントは 特に留意して歌うこと。又 歌い出しや終る時、テンポが変る時には 指揮者を必ず見て歌って下さい。暗譜で歌える人は出来るだけ歌えない人の横に入るよう 練習の時に ご配慮願います。

残された数少ない練習をなるべく効率よくするには、練習時間をフルに使うことが最も大切です。無駄な時間をはぶき 定刻にはきっかり声が合わせられるようお互いに努力しましょう。

群馬県合唱連盟創立30周年記念演奏会

合唱練習 11月18日より 毎週月曜日 PM 7:00~9:00

日	時	昭和61年4月13日(日) 午後2時
場	所	群馬音楽センター
曲	目	レクイエム／モーツァルト
演	奏	群馬交響楽団・群馬県合唱連盟合唱団
指	揮	三沢洋史(多野郡新町出身)

合唱団員

場所 中央公民館 他
指導 斉藤民、阿部延

募集!



熱くなれる オ9で がんば!!

<アルト> 荒井 幸枝

「アラコ、生んだヨー!」

久しぶりに電話越しに聞く、学生時代の友人の声。そうかかのか女もついに母親となったのか。—思えば、27才までは絶体に結婚しないからね、といつも言っていたのはか女だった。約束をいまだに守っているのは私の方だけ……。学生の頃から、子供は何が何でも男の子が欲しい、と決めていたっけ。念願の玉(?)のような“きこ”を抱えて、毎日奮闘しているかしら。

それにしても、結婚祝いが一段落したと安心していただけの間、今度は次々と出産祝いの心配をしなければ……。秋風がいやに身に沁みるこの頃です。(ナーンテ!!)

……とは言うものの、私には週に一度、熱くなれる「オ9」の練習が待っています。12月15日をめざして、がんばります。

花まる もらったよろこびの歌

<ソプラノ> 三宅 美嘉

今年、初めて入団したN校の2年生です。

私が最初にオ9を知ったのはピアノを習っていたころ“ピアノ小曲集”という本の中にあった“よろこびの歌”という曲でした。(オ9とは言えませんが)ピアノの先生から「とてもよくできました。」と花まるをもらいましたが、歌の方は、そうはいかないようです。

「口の開け方が小さい」と怒られ、男性の声に聞きほれて出遅れ、発音も悪いし、音も下がるというように先生方が注意されることが全部あてはまってしまっている私ですが、一生懸命に頑張っているのをごまかしてお願いいたします。それから未だ知らない方が沢山いますので よかったら声をかけて下さい。



運営委員でファイター テノールの真下了君が結婚式を挙行します。日時は11月10日PM4:00 場所は高崎ビューホテル。新婦は梅原久美子さん。お幸せに



アルトの小暮恵理ちゃんが結婚なさるといふ話は地獄耳で聞いたのですが、かんじんの彼氏の名前を聞き逃しました。式は前橋、住むのは高崎へどうぞ



12年目のオ9を成功させるために

真の歓びを目指して慕進しよう

不屈の意志と精神で

あと1ヶ月で高崎オ9合唱団オ12回演奏会を迎えます。このあと1ヶ月の期間が私たちの音楽活動の中で、もっとも重要であると共に、もっとも充実された期間でなければなりません。いわば演奏会の成功、不成功のすべてがこの最後の1ヶ月にかかっていると云っても過言ではありません。

歌が好きだから、オ9が歌いたいからという単純な動機で合唱団に入る方は大勢いますが、演奏会を開くということの意味合いは、聴きにきて下さるお客さんをはじめ、社会的にも非常に大きな責任を持つということでもあります。そこに私たちオ9合唱団の存在意義があり、趣味や自分の嗜好の範疇を越えた大きな理解と不屈の意志が必要となってくる訳です。そうやってこそ崇高にして高邁なベートーヴェンの精神の帰結である作品125、=短調交響曲オ9番「合唱付」に於ける歓喜の合唱の真の歓びが体現できるのでないかと思えます。

より大きな喜びを得るために 苦しみを乗り越えよう!

今の日本は有史以来の平和を享受し、物質的にも過去にない恵まれた社会環境にあると云われています。だがこの物質文化の繁栄に対する精神文化の頹廃はどうなのでしょう。「衣食足りて礼節を知る」といった言葉さえ死語になりかねません。逆説的に考えれば「飽食の時代」に育った世代程、「本当の人間らしい精神」を模索し求めているのかも知れません。

私たちのオ9合唱団は毎年1回の演奏会を開くために様々な困難な問題を克服しながら進んで来ました。これは団員一人一人にとっても同じことが言えると思います。そういった悩みや苦しみを一つ宛乗り超えて行くことに大きな喜びを感じられる強靱な精神を学ぶ取組ようお互いに努力し合うことが肝心です。先ず演奏会までに当面する問題として

1. 練習時刻前に集る。2. 練習はもう休まない。3. ケットは早目に消化する。4. 事務局の実務を自主的に応援する。5. 団体行動が素早くとれるよう協力する。以上皆んなで頑張ろう!

初めて演奏会へ参加される方へ



つるべ落しの秋の夕暮れなどと書くと、そこはかとなく寂しさを感じますが、オ9合唱団ではこれからが「燃える季節」に入ります。

初めて音楽センターのステージに立つ方も沢山居られると思いますので、今から心の準備や当日の仕度などについてご用意下さい。

服 装は 男性は上下黒スーツ、学生諸君は学生服でもかまいませんができるなら、お父さんの黒のダブル等が借りられればその方が良いでしょう。靴も黒です。Yシャツはもちろん白ですがネクタイは黒の蝶ネクタイです。御用の方は事務局で特価¥500の蝶ネクタイが用意しておりますのでお求め下さい。

女性は白ブラウスに黒のロングスカート、黒の靴です。靴はハイヒールは避けて下さい。山合に凸凹があり危険です。又歩く時ロングスカートの裾を踏んで転んでしまうこともありますので歩く時は必ず裾をつまんで歩くよう細心の注意が必要です。きれいに着飾りたい気持はわかりますが、アクセサリーにきらきら光るものは止めましょう。客席から見るとライトに光るアクセサリーは意外と気が散るものです。ご協力をお願いします。

歌 はすべて暗譜です。今のうちに良く練習して言葉をしっかり覚えておきましょう。そうでなくとも初舞台の時は緊張して頭の中がからっぽになってしまうことがあります。そうならない為には何はさておき一に練習、二に練習あるのみです。



演 奏の途中で気分が悪くなったたりした時は直ちにステージから降りて楽屋へ退出して下さい。過去には我慢出来なくてそのまま倒れてしまった例もあるようです。もっとも現代では出たがり屋の人が多そうですので、一昔前の話には杞憂にすぎないのかも矢張りませんが、一応念のため。

体 調には充分留意して下さい。特にこれからは寒さに向い、風邪などをひきやすくなります。夜遊び、夜ふかし、深酒のうたた寝など体を崩す原因になることは、自らを厳しく律し、後悔のないよう注意しましょう。

ウィーンで集う 第9演奏会

高崎オ9合唱団より5名が参加

ウィーンオ9チャリティ・コンサート実行委員会主催による「ウィーンで集うオ9演奏会」が1985年12月4日夜(現地時間)ムジークフェライン(楽友協会大ホール)で開催されます。日本のオ9を愛する人々がウィーンへ行ってオ9コンサートを聞くというものですが、250名の全国の仲間の一員として、我が合唱団員のソプラノ宮田結花、アルト植原阿佐子、田中久子、田中啓子、バス小玉泰孝の5名の方達が参加します。是非皆さんの絶大なる応援をお願いします。

高崎第9

1985・11・21・

No. 25

高崎市弓町74番地 上野道昭方 高崎第9合唱団

Durch Leiden Freude!

BEETHOVEN

BEETHOVEN
SYMPHONY No. 9



新たな旅立ち
今日で第9ニュース
通算 第100号に

1983・5・12 → 1985・11・21

高崎オ9合唱団が10周年記念演奏会としてNHK交響楽団を招いた1983年、それまで不定期発行だったオ9ニュースを毎練習日ごとに休まず欠かさず発行し続け、今号で恰度通算100号となりました。団員の心のきずなとしてこれからも充実したオ9ニュースを育てましょう。



いよいよ、練習も仕上げの段階に入ってきました。団員の皆さんの気持は如何でしょうか。

毎年、真剣に「オ9」に取り組んできていますが、不思議に、この曲はいつも新鮮な感動を味わせてくれます。この曲のすばらしさが、「あの感激を再び」というような単純な気持

では、表現できないところにあるからでしょう。目指している音楽像に近づいたと思ひ振り仰ぐと、常に、はるか彼方に厳然とそびえ立っているようです。

あと幾日かの練習。「再び」でなく「より高く」の心意気で取り組んでいきましょう。

この曲は、最後の Maestoso 「Tochter aus Elysium…… Götterfluchen」を、全心身で歌い終えたとき、我々の努力に対して、厳厳な微笑をみせてくれるに ちがいありません。頑張りましょう。

練習の 最終段階にむけて

副団長 阿部 延

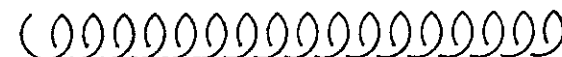
ドイツで唱う夢を託して

〈ソプラノ〉 齊藤 邦枝

合唱が終った。オーケストラも終った。湧き出る拍手の中で「オ9」を唱い上げた喜びと感激に陶酔しながら「来年もこのステージでこの感激を味わいたい!!」と毎年々々思い続けて今年で12回目になりました。10年ひと昔という尺度では随分古いとか長いとか言われそうですが、無我夢中で唱ったオ1回目の事もまだついこの間のように思い出されます。

唱うことが好きで入団した私には決して生やさしいことではなく、苦難な道のりでしたが、先生方の熱心な御指導と運営委員の皆様の御盡力のお蔭です。素人の私には難かしいことはわかりませんが、ベートーヴェンの悠久で崇高な音楽は何か心が浄化され、内面の向上も願われます。それにも増して豊かな人間性を持つ大勢の方達ともめぐり合い「オ9」とは何と素晴らしいものが温存されているのでしょうか。

これからも毎年の私の歴史も積み込みながら大きな感激を「オ9」に求め、3年後のドイツの空に希望の焦点を当てて、もっともっと永く唱い続けてゆきたいものです。



表題 考

〈アルト〉 植原 利子

書物や文章ではなく、曲目の「表題」を懇に考えてみた。

表題＝題目、即ち第一印象のキャッチフレーズだから、作者はこれに心入るのは当然である。が、受方は常にこれに左右されないよう深い洞察力が必要だ。

一例だが、ハイドンの「^{オマニ}剃刀」「昼」「校長先生」等の表題は、平均的日本人の心を揺るのは難しい。ではチャイコフスキーの「悲愴」はどうであろうか。初見なら、反古典派人間も些少ななりとも食指を動かすのではなかろうか。更に音楽好きなら、表題を見ただけで聴きたい気持に誘われる。

この表題で当たったのがウイヴァルディの「四季」だと言うのを、よく耳にする。多分日本の四季が私達に、絵画的詩的想念を抱かせ、折々の感性がウイヴァルディの「四季」に重ねられるからだと思う。

特に(物の哀れ)に心の琴線が触れるのは、万葉人而已でなく、詩弋に乏しい^{イジン}今人にもその伝統が脈打つことは、素晴らしい無形の文化だ。反面言葉から受ける

12月5日は 大町レッスン

暗示になかりやすい弱みに気付いて日常を送る人が何程いようか。

見たり聴いたり、そして食す秋。表題に牛耳られっぱなしの人生でも味気ない。



高崎第9

1985・11・28

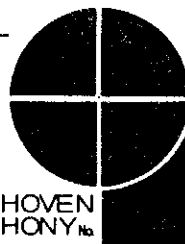
No. 26

高崎市弓町74番地 上野道昭方 高崎第9合唱団

Durch Leiden Freude!

第九

BEETHOVEN
SYMPHONY No. 9



11月26日PM7:00に才3回運営委員会が開かれました。会議の内容は 1. 演奏会当日の準備
2. 冬期レッスンの日程 3. 15周年のドイツ公演について が主なものでした。

15周年には ドイツへ行って第9を歌おう 国際文化交流目指し 夢の実現に絶力を!

この日行われた会議の中で一番大きな問題が15周年記念にドイツへ行って歌おうということでした。そのためにこれからどんな事をして行かなければならないか、といった具体的なことはさて置き、「ドイツへ行って歌おう」という意志決定を行い、これからの合唱団活動に反映させることにしました。一地方の小さな合唱団?ですが、夢は大きく世界にはばたこうという訳です。この画期的な才9合唱団の事業に是非一致協力して成功に導きましょう。

演奏会後の予定決まる 冬から春は混声で隔週レッスン

12月19日(木) PM6:30 才9忘年会 / 向屋町ホテルすわ / 会費3,000円前納制 / 1/2抽切

'86年1月9日(木) PM6:30 才9新年会 / カトリック教会 / 会費1,000円

混声合唱隔週レッスン '86年1月23日, 2月6日, 20日, 3月6日, 20日, 4月3日, 17日 いずれも木曜日(会場カトリック教会)

'86 高崎第9合唱団総会 '86年5月22日(木) / 中央公民館ホール予定 / PM6:30

'86 才9発声式 1986年6月5日(木) / カトリック教会 / PM6:30

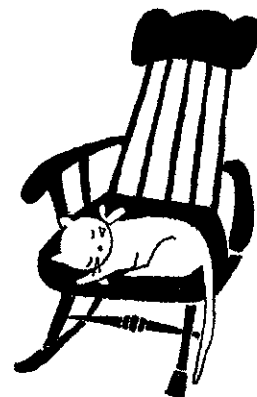
あと2回!! 苦しみの中の喜びがやって来る

高崎経済大学グリーンクラブ・前橋育英短期大学合唱部

第2回 合同演奏会

日時 / 1985・12・14 PM6:30 場所 / 高崎市文化会館 ￥300.-

歌 の う ろ ば



胸の奥が熱くなる思い出

〈アルト〉 中村 美佐

今から12年前の音楽の授業中のことである。すでに耳が聞こえなくなっていたベートーヴェンが苦悩を乗り越えて交響曲第9番「合唱付」を創り上げたこと。初めて才9をステージで発表したあと、客席の反応が恐ろしくて指揮棒を持ったままベートーヴェンはじっと下を向いていたこと。そと客席を振り返ると、人々は感激のあまり涙をこぼしながら「ブラボー」を叫んでおり、ベートーヴェンはやっと才9の成功を知ったこと。これらのことを、音楽の教師は泣きながら語ってくれた。

12年経った今でも、時々そのことを思い出して胸の熱くなることがある。毎年この頃になると、日本全国が才9一色に染まるが、それでもなお聴衆の心に深い感動を残すのは、才9の中にベートーヴェンの魂が生きているからに違いない。本番までもうすぐ

思いがけなくウィーンの第9へ

〈アルト〉 田中 久子

だが、ベートーヴェンの喜びと苦しみ、聴いて下さる全ての人の心に刻み込まれるような、そんな才9を私は歌いたい。

思いがけなくウィーンへ行けることになり、決ってから2ヶ月余り、何となく気ぜわしい毎日が過ぎて行きます。音楽を聴くことが生き甲斐だった若き頃、音楽の都へ行きたいと何度となく夢見た日々が懐しく甦ってきます。

予定に無かった出来事で、思いまどうこともいろいろある中で夢が実現する今、家族(特にソフィア)の理解と、才9を歌い続けてきたおかげだと思えます。

ウィーンでは私なりに少しでも良い演奏が出来るように一回でも多くと毎週まじめに練習に通っています。才9合唱団でもドイツに行つて歌う話が出ているそうです。そんな素晴らしいことが実現するためには、われわれ団員一人一人が、もっと大きな合唱団にするよう努力しなければいけないと思えます。

今迄の私の人生の中で思いもかけなかったことが2年続いたのです。昨年は年がいきもなく運転免許証を取ったこと、これで来年はどんな良いことが有るのか楽しみにしています。

12年前に高崎才9にめぐり合ったことが、今回の素晴らしい幸運に結びつくとは考えもしなかったことです。演奏会割当てのチケットも全部売り切ったので一応の責任も果たせ、心も軽く、身も軽くなる気分です。とにかく一生懸命歌ってきます。

次回12月5日

大町レッスン

最終の指揮者レッスン
です。早目に集まりましょ

高崎第9

1985・12・5・

No. 27

高崎市弓町74番地 上野道昭方 高崎第9合唱団

Durch Leiden Freude!

WFFS

BEETHOVEN
SYMPHONY No. 9



演奏会の準備は万全か?
心構えは出来ていますか?
チケットは目標を達成したか?

今日の指揮者練習を終えると、練習と名の付くものは来週だけとなりました。何回歌っていても本番が近づくとそれなりに緊張するものです。自分の周囲をもう一度じっくり見直し、最高の演奏ができるようコンディションを整えましょう。最後の頑張りと努力を!

演奏会 当日の行動予定

- AM 9:00 役員、事務局員、パート委員 群馬音楽センター・オ1会議室へ集合、簡単な打合せ
AM 9:30 一般団員集合、出席受付、チケットの精算、接待担当係集合。
AM 10:30 発声練習(オ1会議室)
AM 11:00 ケネプロ(舞台へ移動、ケネプロ終了後、団員控室<男性はオ1会議室、女性はオ2会議室>で昼食ののち、更衣。外出はしないこと。)
PM 0:30 会場担当係員集合(切符のもぎり、精算、招待受付等)
PM 1:20 開場(お客さんが入ってくるので、団員はロビー、ステージ等出歩かないこと。)
PM 2:00 演奏開始(エグモント演奏後小憩、この間にアルト、バスは舞台上手、ソプラノテノールは下手に移動。静粛に、私語絶体禁止、並らぶ順序確認。)
オ2楽章終了後 舞台へすばやく上る。女性はロングスカートの足元に特に注意。
PM 3:30 終演。(レセプション準備のため男性は早く更衣して、会場作り。)
PM 4:00 レセプション開始(オ1会議室) PM 6:00 終了。
※ レセプション終了後は恒例により2次会を設営します。(会費 2,000~3,000位)
※ 昼食はサンドイッチ、ミルクを団で用意しますが、実費500円を出席受付と同時ににお支払い下さい。
PM 6:00 高崎通町 仙水にて2次会(希望者は次回までに事務局へお申出下さい。)

85年の最後を飾る第9忘年会 12月19日(木)PM6:30 会費¥3,000(前納制)
場所 尚屋町 ホテル すわ

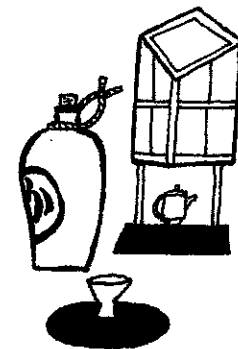
思わす背筋がゾクッ!

<アルト> 羽鳥 明子

私が初めてオ9の生演奏を聴いたのは、学生時代所属していた大学の合唱団の先輩や仲間と、NHKホールにN響の演奏を聴きに行ったときです。練習が終わったあと、急いで電車に乗ったのですが、会場に着いたのは既に開演時間を過ぎてからでした。

演奏中は入場できないので、残念ながらオ2楽章が終るまで(確かオ1楽章は全然間に合わなかったと思います。)ドアの外でスピーカーから流れる音楽を聴いていたのです。そして、やっと中に入ることができ、ステージからの音をじかに聴き、生のオーケストラの音色というのは、こんなにも柔らかく、ふわっと包みこむような音なのか、と思いました。

オ4楽章の合唱が始まったとき思わす背筋がゾクッとしました。(別に熱があったわけじゃありません。)今でもそれははっきり覚えています。あの時はそのオ9を、まさか自分が、それもあのN響と一緒に演奏することが出来るなど、夢にも思いませんでした。その夢も一昨年かなえられ、オ9の魅力に益のめり込みそうな私です。



歌のひろば

高崎オ9ニュース 100号に寄せて

<バス> 上野道昭

一昨年N響との10周年記念の取組みから通算100号のオ9ニュースが先の11月21日第25号で達成されました。これは大変御苦労なことです。練習日毎に予定のお知らせ、団員のこえ、そしてベートーヴェンについての伝記等の記事で発行して下さった田中さんの御苦労は、その分私達の練習の楽しみが大きくなりました。本当にありがとうございます。

さて今年も、全国津々浦々151回もの第9の演奏会が行われ、益々その歌声が広がっています。喜びの歌声がよりひろがり私たちの生活の中にほんとうの喜びを持ちたいと思います。

今年も演奏会が真近になりました。風邪などひかぬよう又、多くの人々が良い年末が送れるよう、チケットの購入を呼びかけて下さい。

天田美佐子 第1回メゾ・ソプラノリサイタル

misako Amada mezzo Soprano Recital

ピアノ 塚田佳男

¥1,500(全自由席)

1985 12/17 (火) 午後7時 高崎市文化会館



あと3日、12回目の本番

役員はA 9時、団員はA 9時30分までに集合

練習もいよいよ今日が最後となりました。幾度となく至誠していても、やはり演奏会が迫ってくるとそれなりの緊張感を覚えます。まして初参加の方は余計そう思うのも無理からぬ事です。そこで今一度演奏会の準備をチェックしましょう。

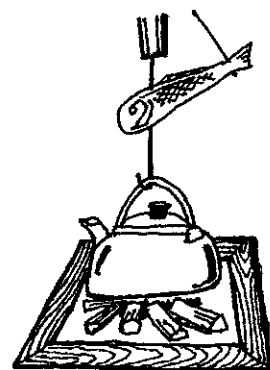
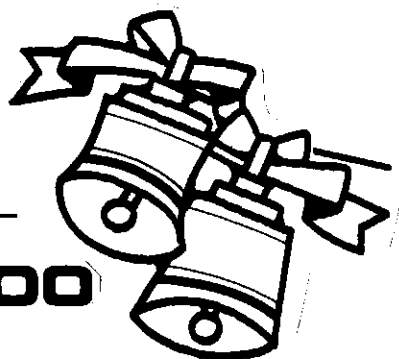
1. ステージでの服装は、男子は上下黒スーツ、黒蝶ネクタイ、黒靴、白シャツ。女子は白ブラウス、黒のロングスカート、黒靴(かとの低いもの)、きらきら光るアクセサリーはご遠慮下さい。
 2. 朝の受付は必ず自分でして下さい。(昼食500円用意のこと。) 混み合いますので早目においで下さい。
 3. 受付を済ませてからチケットの精算をお願いします。
 4. 12月19日(木)オ9忘年会の参加申込みも同時に行います。希望者は3,000円の会費を添えてお申し込み下さい。
 5. 上記手続きの終えた方は遅滞なくそれぞれの控室(男子オ1、女子オ2会議室)へお移り下さい。
 6. 控室へ入ってからはなるべく外へは出ないようお願いいたします。発声練習やその時々連絡事項などがあります。
 7. 舞台への移動は素早く静かに行いましょう。団体行動が一語に行えない方は合唱にはとても不向きです。(今年はオ1楽章から出ます。)
- 以上のことを今一度点検した上で、最良の演奏が出来るよう心を整えて下さい。

若い仲間たちによる音楽会

クリスマス チャリティ コンサート

主催 / アミーチ
・ピアノ・オペラ・アヴェマリア 他
ピアノ伴奏 中島ゆい子

1985年12月25日(水)PM6:30 ¥500
前橋 市民文化会館小ホール



歌のひろば

＝第九の魅力＝

〈アルト〉 西有悦子

音楽を聴くことだけに楽しみを持っていなかった私が、一度でいいからオ9を歌いたい、そう思ったのはオ1回の演奏会を聴いた時からでした。ある新聞での募集をきっかけに入団しましたが、知る人もなくドイツ語はもちろん、音符も読めず練習室の片隅でひっそりと歌っていました。

でも熱心な先生方の指導とみなさまのおかげで、自分にとって10回目の演奏会を迎えようとしています。

最初の頃を振り返って、いかに自分が未熟であったかを反省しつつ、これからあの歌い終えた感激もさることながら、又詩の意味も理解して、オ9への魅力、真髓に少しでも近づくよう一歩一歩努力して行こうと思います。

霜柱を踏んでつとめに急ぐ毎日、まわりの山々もすっかり雪化粧して冬の到来です。本番まで僅か3日となりました。団員の皆さん、どうぞよろしく。風邪などひかないよう気をつけて、頑張ってください。

東京から高崎へ 第9ツアー

大町先生の肝入りで

12月15日の本番が目前に迫ってきました。先週の大町レッスンの冒頭で先生から、北海道十勝清水のオ9合唱運動の迫力に満ちたお話があり、私たち地方における合唱活動のあり方に大きな感銘と示唆を与えて下さいました。

その大町先生の肝入りで、今度の私たちの演奏会を聞こうと東京から12名の方が「オ9ツアー」として訪れて下さることになり、チケットも既に大町先生を通じて購入して頂きました。高崎の名に恥じない演奏が出来よう頑張らしましょう。同時に当日1人でも多くの人々に聴いて貰えるようチケットの頒布にも全力を盡くしましょう。

ホテルすわ 案内図



12月19日(木) PM 6:30

高崎オ9望年会! 会費 3,000円

会場 高崎市向屋町1-3 ホテル すわ TEL 63-3511

今年を振り返り、そして来年を語らしましょう。申込は事務局へ。

高崎第9

1985・12・15・

№. 29

高崎市弓町74番地 上野道昭方 高崎第9合唱団

Durch Leiden Freude!

BEETHOVEN

SYMPHONY



■ ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ

これほど自己充足し、エネルギッシュかつ熱烈な芸術家に私は会ったことがない。(松本耿夫 訳)



今日の演奏は

12月28日(土)

PM 0:15より

NHK FM 群馬
アワーで放送されます。

12年目。 炎となって 歓びの歌を!

苦しみを乗り越え歓喜に到る——12年目のオ9演奏会出演のベルが鳴るのも最早時間の問題となってしまいました。1日も休まず練習に通った方、行きたくても来られなかった方、それそれの想いを秘めて、舞台の幕が上がります。期待と不安と後悔と充足と、いろいろな感情がないまぜになって、免に角突き上げて来る興奮を抑えるのにひと苦勞です。何回歌っていても演奏会当日はいつもそんな気分に馳られる自分を発見します。そして結果は演奏会が終った時、自分の胸に還ってきます。ベートーヴェンとは? その答えも間もなくわかることでしょう。



これからの
予 定

'85/12・19(木) PM 6:30 第9望年会 / 会費 3,000円
向屋町 ホテル すわ

'86/1・9(木) PM 6:30 第9新年会 / カトリック教会・会費 1,000-
持込 歓迎・(暖房完備)

隔週レッスン 1・23/2・6,20/3・6,20/4・3,17 各木曜 (PM 6:30)

「百川海を学んで 海に至る」

〈ソプラノ・指導〉 赤羽 洋子

オ9ニュース100号突破おめでとうございます。毎週楽しみに読ませていただいておりますが、一週も休まず発行なさる田中さんのご努力は、本当に言葉に言い表わせない程の犠牲が払われていることと、ただ頭が下がる思いです。

ところで中国の古い書物に、こんな言葉がありました。『百川海を学んで 海に至る』

多くの川が海のようになることを憧れて、やがて海に注いで、海になるということです。私たちが常に努力すれば、ついには立派な成功を収めることができるということ、言い換えれば、毎週のオ9練習の努力が、本番で聴衆に素晴らしい感動を手えられる音楽会になるということです。常に努力して立派な成功を収めようという強い意志が私たちにも伝わってくるような言葉ではありませんか。

取業も家庭環境も、年令も、何のかわり合いもない150人もの人間が、オ9を合唱するという、ただ一つの目的に向かって進めるということは素晴らしいことだと思います。ただそれを決して表面に出さず奉仕の心で陰で支え、まとめて下さっている田中さん、渡辺さん、上野さんに対し心からの感謝の気持ちを持ってオ9を歌う喜びを味わおうではありませんか。



歌の
みずは

今年最後の大ニュース!

喜びの三重奏(秘)

一挙に発表!!

結婚しちゃいます。もう!

①突然ですが、私こと田島卓雄(バス)と多摩川弘子(ソプラノ)は来年の2月2日に結婚します。②B型同士という笑にちゃらんぽらんで、いいかげんな、あふなっかしい組合わせ、吉と出るか凶と出るか……。③思い

起せば2年前、N響につられて入団した二人の運命の赤い糸は、あの外山雄三によって結ばれたのでした、とはウソ。当時は団員が多すぎて、お互い存在すら知りませんでした。んが、天空のなだに任じたもう神の、みちびきにより、これこれしかじかのわけで、こうなりました。

ソプラノの清水佳子さんも来年2月22日(土)「藤倉」さん(とだけし本現在ではわかりません)と結婚します。おめでとう! 来年からは背の君と腕を組んでオ9へどうぞ。

運営委員でピアノ伴奏者で指導もして下さり、〈バス〉でもある阿部真先生、長年のロマンスにピリオド。ついにゴールイン。指揮棒をお嫁さんに替えて人生の名タクトに挑戦。2月に東京で挙式予定。



1986年は騎虎の勢いで

ドイツ公演の足場固めを!

目指すは 国際音楽文化交流の夢の実現

皆さん明けましておめでとうございます。昨年の12月15日才12回演奏会を終ってほっとしたのも束の間、もう恒例の才9新年会を迎えてしまいました。しかしこの頃にあっても才9合唱団は寸時として休むことなく活動を続けています。12月19日には「才9クリスマス会」をホテルすわで行い30名の人々が、楽しい集いの一刻を過ごしました。又、そのすぐ後には「年賀状」の印刷や宛名書きなど、それから今日の新年会の設営と年末年始の多忙な時をさいて、数多くの団員の陰の力が働いています。そしてこの力こそが我が才9合唱団の12年に及ぶ歴史を支えて来た原動力なのだと思います。

さて13年目を迎えた1986年、この年は私たちの目指す「国際文化交流」の元年ともなる年です。既に何回もお知らせしてある通り、3年後の15周年にはベートーヴェンの故郷であるドイツへ行って演奏会を開こうという訳です。この快挙を成し遂げるためには、それこそすべての団員のすべての力を一つに団結しなければ実現することは出来ません。

ある人は「そんなことは夢さ」と言うかも知れません。しかし夢や理想のない人生は、針路を失ってさまよう船のようなものではないでしょうか。大きな夢を掲げ、そしてその夢の実現に向って邁進する——それが私たちの生活の中の「生き甲斐」というものでしょう。

昨年の日本人の一番好きな漢字は「夢」だったそうです。それまでのトップであった愛や誠という字を抜いて何故「夢」になったのでしょうか。〈飽食の時代、中流意識、聖清大國、エコノミックアマール〉などと衣われる世界の雑沓の中で、豊富な物資と引き換えに失ったものはあまりにも大きいものだったと世の中の人々が気付いたのでしょうか。もう私たちは「物の時代」ではない「心」の時代なのだと……。その心の中に芽生えたのが「夢」だったのではないのでしょうか。

私たち才9合唱団は今までもこの「夢」を大事に育てて来ました。N響と共演した時も多くの友人たちは「まさか」と言って驚きました。たった一回のステージに1450万円かかりました。しかし私たちは長い間暖めて来た「夢」を実現しました。今度の夢も必ず実現出来ると思います。ドイツ演奏会に向って団員一丸となって騎虎の勢いで進みましょう。

新しき第9の創造に

向かって……

〈事務局次長・テノール〉 松本 茂晴



歌のひろば

1985年も今まさに終ろうとしている大晦日のこの時、FMからN響の、これも多分今年ラジオから流れ出る最後であろう才9を聴きながらこれを書いている。

いくつもの思い出を残しながら練習を積み重ね、12月15日を迎えてからもう2週間を至した。当初から若干心配された盛り上りに欠けた日々が多く、それは当日の動員にやはり結果となって我々の目の前にあった。演奏会終了後、各方面から寄せられた絶賛の声を聞く度、やはり一人でも多くの聴衆を願うのは一人私だけではないと思う。

行事面では計画倒れに終わった面も多々あったと思うが、それは次年度以降への課題としたい。あのすばらしい感動をさらに大きく広げていくためにも、私たちはステージを降りた時からそのための歩みを始めなくてはならないと思う。感動はやはり努力の大きさにむくいるべく用意されているのではないだろうか。

長く暑い季節の中、雷鳴と歌い、静かな秋の夜に虫の音と声を合わせた日。襟元をたて足元を吹き抜ける風の冷めたさに、追われるように練習会場へと足を運んだ日々。ステージに立ち、曲の進行に合わせるように、長い一年が浮かんできたことだと思う。

一つの節目である発声式を期に来る人、去る人それぞれではあるが、毎年新しく結集する人達は今までとは違った気持で、新たな才9を目指しているのだと思う。その年々の音楽を半年余りに亘り構築して行くという遠大な作業のスタートである発声式は、そういった意味で参加する人が自分なりの決意を表す場でもある。

才9の中に（合唱運動の中に）求めるものは、人それぞれではあると思うが、辿り着く先は演奏会の感動をもってして、ベートーヴェンの真髓に迫ろうとするものではないだろうか。又それは半年余りの道程があればこそ迫れるものであると思う。

行く年を省み、来る年に向け、新たな才9の創造に向って、団員一人ひとりが自分なりの道標を定め邁進しようではありませんか。もう1986年です。おめでとう!!

これからの
練習日程1月23日、2月6日、20日、PM 6:30
3月6日、20日、4月3日、17日。

何れも 水曜日 高崎市高松町カトリック教会



愈々ドイツ公演に向けてスタート!



2年後のドイツ公演実現を目指す高崎第9合唱団。オーケストラは別で、群馬交響楽団＝高崎市の群馬音楽センターで

「ベートーベンの故郷で第九を歌おう」と、高崎第9合唱団は、高崎市民団長の呼びかけで今年度の団員募集を始めた。団結十五周年を記念して二年後の六十二年に、みんなでドイツに渡り、力強い「第九」の演奏を、協賛オーケストラの協賛で実現する。いまはまだ、初夢、といったところだが、かつてはやはり三年計画でNHK交響楽団との協賛を実現しており、団員たちは自信を持って、九日に新年会を開いて、初夢をあげる。実現すれば、もちろん県内初めだ。

初夢とはいえず、まだその後の練習では、昨年十一月の運営委員会での決定事項なのだ。それによると、今年はまだ、国際文化交流の基礎づくり

ベートーベンの故郷で「第九」を歌おう

高崎第9合唱団

初夢にむけあす氣勢

の年と位置づけ、準備を始める。練習を積んで一層力をつける。一方、旅費は三万円を越える費用に備え、団員各自が奮発を心がける。三年目の六十二年春(二)百五十人ほどでドイツに渡り、土地のオーケストラと協賛する。

同合唱団は毎年新たに団員募集をするが、今年はこのドイツ公演を目指してのもの。新たな団員を迎えて市内高松町の高崎カトリック教会で新年会。席上、互いのやる気を高め、五月の総会で正式に決める。

同合唱団はアマチュアで、市内を中心とするさまざまな人たちが参加して四十九年に誕生した。一五月は随筆木曜、六月以降は毎週木曜に練習し、十二月に「第九」で群馬交響楽団と協賛するのが通常の活動。十年目の五十八年には国内トップのNHKと協賛した。費用は五十万、もうかかったが、団員がチケット販売にも努力し、大成功。これをねらって、ドイツ公演の話題が出始めた。団員一人に、ドイツで生活をした人がいたこともあって、運営委員会の決定

この記事は今年の1月8日朝日新聞群馬版に掲載されたものです。総力を挙げて団員募集に取組もう。

にまで進んだ。オーケストラ選定のほかにも課題は少ない。期日、入場料、そのチケット販売法、PRの仕方など。が、「苦しみ」の越え、歌(よさこ)に至る。が、それも団のキャッチフレーズ。それに他都県の合唱団の、同じような企画も耳に入るようになった。で、市水道建設課長でもある田中清司副団長は「ドイツはベートーベンの故郷。それになんといってもクラシックはヨーロッパ。本場であるなら最高に幸せ」と情熱を燃やしている。

問い合わせと入団申し込みは高崎市弓町七四、上野道昭さん(〇二七三二六―九五四)へ。

86年1月9日、新年早々の初顔合せ、すっかりおなじみになったオ9新年会がオ9練習場で開かれました。



夢開くオ9の未来

先ず斉藤民団長の新年祝賀の挨拶で始り、3年後の15周年には是非共ドイツで歌うイベントをみんなの力で成功させましょう。と力強いお話がありました。この話の中で斉藤団長は「私達はオ9の合唱を通してその歓びを味わうと共に私達の心の中に大きな夢を持ちましょう。そして夢を持ったら、その夢を実現するよう努力しましょう。」と語られ、参加者の大きな共感を呼び起しました。

新年会にはソプラノの安藤昌子さん手作りの「香の物」のほか、ウィーンで歌ったアルトの植原阿佐子さん、田中久子さんのお土産の「オールドパー」もあけられ、阿部延先生の少し酔い加減の指揮で芽出たく歌い初めが行われました。

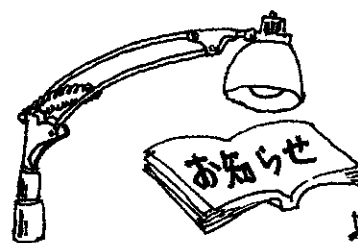
この日、別項の新聞記事を見て、どうしても参加したいと新入団者もあられ、今年の募集オ1号となりました。5月の定例総会までに是非200名の団員を擁する合唱団となり「世界にははたたく高崎オ9の基礎作り」に向かって邁進しましょう。

第9新年会々計報告

収入	会費 1,000円×34名	34,000円
支出	雑費(コッパ、箸等)	2,269
	つまみ、菓子等	6,304
	飲物(ビール、ジュース他)	4,980
	仕出し	18,000
		31,553円
	34,000-31,553=2,447円…残金	
	(残金については団会計に繰入れます。)	

恒例第9スキーツアー

〈ボーゲンからクリスチャニアまで〉
冬の華スキーへ今年もチャレンジ。体を鍛え、この一年の活動に備えよう。来れ!若人?→いや老若男女。実年可。
期日 2月15,16,17日(1泊2泊、日帰り等各種)
場所 〇
申込 アルト 羽鳥明子、渋谷みどり、平沢綾子の3コ-4



阿部真さん 2月10日に挙式

オ9ニュースオ29号でお知らせしたピアノの阿部真さん(何をかくそう阿部延先生の長男)の結婚式が2月10日東京は飯田橋のホテルエドモントで行われます。新婦は青木みずえさん。永年の恋の稔りに榮えあれ!おめでとう。

出来てます、演奏会の写真

昨年の演奏会の写真が出来ています。サンポールアルバムをご覧の上、現金を添えて事務局員へお申込み下さい。

次回のレッスンは
2月6日(木)です。



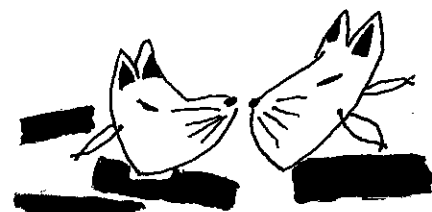
3年後のドイツを目標に

飲むの歌をより多くの人で！

格調高い合唱を

3年後「ドイツで歌うオ9」を目標に冬期レッスンは1月23日、松原真介先生の指導で開始されました。寒さもものなわ、30名を越す団員たちのほか、今年から是非頑張りたいと新入団する人々も含め、アルカデルの「アヴェ・マリア」を混声4部で譜読みからはじめ、終りの時間が近づく頃には、もうそれなりの合唱が出来上がりました。

又この日は「群馬よみうり」の記者も取材に訪れ、私たちの「大きな夢」についての抱負や聖像を熱心に聞いて頂きました。未だ渡独の話はその緒についたばかりですが、この実現には一に団員ひとり一人の協力や活動如何にかかっています。12年におよぶキャリアを生かし、より多くの市井の人々が、私たちの「第9運動」に参加し共にベートーヴェンの「飲むの歌」を詠歌できるよう努力しましょう。



＜2月初旬＞

今年の演奏会指揮者

いま一度 **大町陽一郎氏**で

1月23日のレッスン終了後 1986年度の指揮者の選定について 急遽臨時運営委員会が開かれました。

今までの経過が渡辺運営委員より説明されましたが、渡辺暁雄、岩城宏之、秋山和慶各氏共、既に年末の日程が定まって居り、今年は無理とのことでした。高崎が予定している12月14日の前日である12月13日には館林でもオ9演奏会が開かれる事になって居り群衆からも高崎オ9が決めれば同じ指揮者でやりたいとの話もあり早急に決めて欲しいと要請されされました。現在まで著名指揮者の中では大町陽一郎氏だけは日程をあけて貰ってあるとのこと、他の若手指揮者についても検討しましたが、知名度は大町氏が抜群ということで、今年も大町氏でやろうと決定しました。

大町氏は皆さんも去年の指揮でご存知の通りですが、高崎のドイツで歌いたいという事にも理解を示され、ドイツには知人も多いので側面的に応援して頂けると思います。

歌 の つら ば



夢を実現させるために— みんなの智恵と アイデアを

＜バス＞ 田中清巳

高崎オ9合唱団が「ドイツへ行ってオ9を歌おう」と運営委員会で決めたのは、単なる思いつきや夢のような話としてではありません。12年間に及ぶオ9の合唱運動の中から学んだ「手創りの演奏会」の輪をひとまわり大きくして、国際的な「手創り演奏会」に挑戦しようという、いわば私たちの創造力と行動力を最大限に発揮して見ようと言うわけです。出発点のいまは

五里霧中

といったところですが、これからみんなで智恵やアイデアを出し合い、是非3年後にはこの壮挙を実現しようという意志を固めて一つひとつの問題を積み上げて行きたいと思います。どんなに歌が上手で声が悪くても1人では合唱になりません。声が良くなくても、息が続かない人がいても、高い声の出ない人が居ても、それぞれが補完し合うことによって素晴らしい合唱を創り上げることは可能です。それこそが合唱の醍醐味でもあり、本当の意味での「和」であると言うことが出来るのではないでしょう。

ベートーヴェン

の飲むの合唱はすべての人々が兄弟のように抱き合える世界にあってはじめて真の飲むが存在することを逆説的に示唆しているようにも思えます。だからこそベートーヴェンは聞えない不自由な耳と苦悩の中で、至福の光を追い求め自身の願望の理想をその楽曲に託したのでしょう。

高崎第9合唱団

はこのベートーヴェンの理想に限りなく近づくために努力している集団です。そして大きく云えばこのことは「人類の等しく願う」ことでもありましよう。云うは易く行うは難いかも知れません。しかし私たちはやり遂げましょう。「ベートーヴェンの故郷、ドイツで歌う高崎第9合唱団の実現」を！ 真の飲むを体得する為に！！

・85 XIIth 演奏会ビデオテープ

希望者にダビングします。

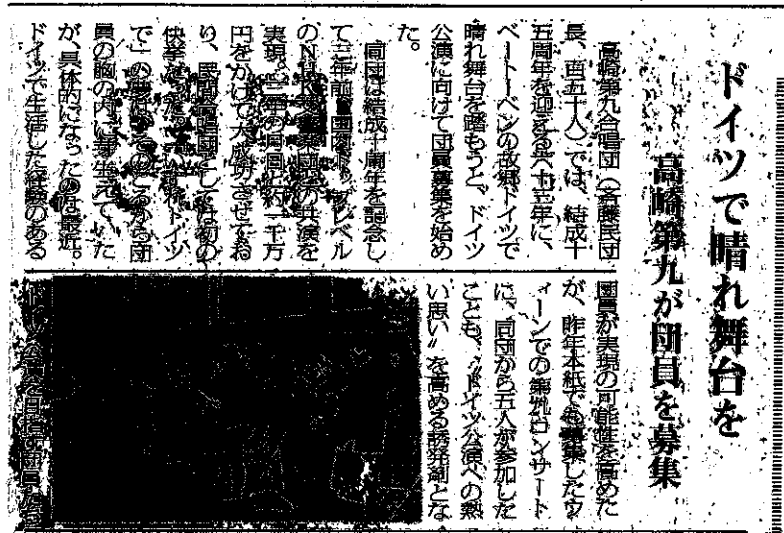
昨年行われた演奏会の模様をビデオにおさめました。ご希望の方は90分テープをご用意の上＜バス＞の有坂までお申し込み下さい。テープのない方はテープ代実費申し受けます。





ふくらむ夢 育てよう 国際文化交流の 和！話！輪！

群馬よみうり 昭和61年2月6日(木曜日) 掲載



ドイツで晴れ舞台を

高崎第9合唱団員を募集

高崎第9合唱団(音楽民団)は、長(西五十人)で、結成十周年を迎える。其の間に、ベートーベンの故郷ドイツで晴れ舞台を飾ろうと、ドイツ公演に向けて団員募集を始めた。

ドイツ公演は五月の総会で正式に決定されるが、団員の募集はすでに新年会の確約済。期日の決定も急務。ドイツ公演の募集、チケット料金は、旅費、宿泊費、食事、交通費、入場料、保険料、その他、合計で約十万円。この費用は、団員一人一人が負担する。募集は、三月内。入団希望者は、三月内、入団希望書を、高崎第9合唱団事務局、高崎市弓町74番地、上野道昭方、に送る。募集要項は、三月内、入団希望書と一緒に送る。

1人でも多くの人に呼びかけよう
暦の上では立春も過ぎ、陽ざしも軟く春めいてと云いたいところですが、現実には厳しく、名物の空っ風も2月が最も吹きすさぶ時期です。しかしこんな厳しい季節ではあっても自然の営みは春の芽吹きに向って胎動しています。同様に私たちオ9合唱団も隔週レッスンを続けながら、'86年からドイツ公演を成功させる為のプロセスの検討をはじめています。
今私たちが目標に掲げた「3年後のドイツ公演」を実現させるためには先ず団員の確保が重要な課題です。少なくとも150名位は最底のラインとして必要と思われますが、私たちの音楽運動を理解して頂けるよう一人でも多くの市民に呼びかけを行いましよう。
5月には定期総会が行われますが、当面この総会までに新入団着を増やすよう団員一人一人が努力して下さい。隔週レッスン期間中は団費は不要です。



ウィーンそぞろある記

—ウィーンで歌うオ9の集い余閑—

〈アルト〉 田中 久子

見事な彫刻がほとこされている建物が並ぶ街は、あの大音楽家達が生活していた時そのまゝを思わせる風景であった。銅像が沢山あり、至る処に歴史を感じ、初めて見る外国「音楽の都」は目を見はるものばかり。そこに立っていることが不思議な気がして、ウィーンに来たのだ、と思わず心の中で叫んでいた。

ホテルのあるヒッテンクの駅から20分位の所にいまフ、カールスアラッツ駅があり、そこがウィーンの中心街で、オペラ劇場、カールス教会、オ9の演奏が行われた楽友協会ホールもすぐ其処に……。オペラ劇場の脇を通り歩行者天国のショッピンク街を行くといきなり視界が開け、シュテファン大寺院が目の前に現われあにはびっくりした。見上げると霧の中に寺院の尖塔が見えかくれしどれ程の高さがあるのかわからない。寺院の中は美しいステンドグラスと彫刻で満たされ、地上から頂上までの高い空間をどのようにして築いたのか、ただただ驚くばかりであった。

地図を片手に歴史博物館もさがして、自分の足で異国の街を歩く楽しさを味わえたことも又とない経験となった。がそれにはウィーンの人々の優しさを忘れることは出来ない。若い人もお年寄も、何処で何を聞いても親切に答えてくれるのです。言葉の判らないのが残念だが、身振り手振りで一生懸命教えてくれるので、うれしさと勇気が湧いて、見知らぬ国を歩いているという不安が全くなかった。

かの有名なウィーンの森は、とても大きな森を想像していたが、これは全く違っていて、ウィーンの北東部以外の三方に延々と広がる地域を指し、そこには古い宮殿や教会、町などもあり、恰度雪が降った後で、白一色におおわれたウィーンの森はメルヘンの中のクリスマスを思わせる世界であった。

オ9、菩提樹村、レクイエムの作曲された家もウィーンの森に現存し、居酒屋でワインを飲みながら、民族舞踊やチターの演奏に耳を傾け、思いがけなく手にしたモーツァルトのレクイエムのチケット片手に素晴らしい演奏に接することも出来た。そしてドイツの音楽家たちと一諸にオ9の演奏会を持てたことは、国境や言葉を越えた異郷の人々との心のふれ合いと共に、一生の忘れ得ぬ思い出となって私の心に刻みつけられた。何時までも滞在できればいいのにとせいたくな願いを胸に、是非もう一度、いや何度でも行ってみたい旅であった。

しかし日本を離れて、初めて日本の良さも強く感じ、地球上にはそれぞれ素晴らしいものを持った国が沢山あると思う。人類が築き上げたこの遺産を現代人の手でなくす様な時が永遠に来ないことを望みたい。

オ1回 安中くさぶえ合唱団 演奏会

指揮 / 赤羽洋子・阿部 真 ピアノ / 梁瀬弥生・西沢宜子
賛助出演 合唱団 コール・パーク

と き 1986・2・23(日) PM 2:00 開演
と ころ 安中市文化センターホール

入場券 ￥500.

グートーヴェンの歩いた道
その道を私たちも歩こう。



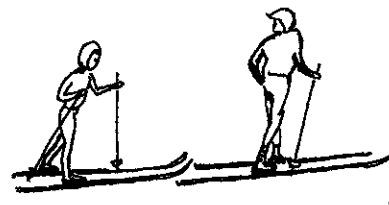
ヴェート・ヴェンに関する資料をお持ちの方、編集子までご提供下さい。

歌のふさは

2/16 オアシスキーツアー

万座温泉スキー場

猛吹雪で止むなく撤退



朝、明けやうぬ高崎を後に8名のオースキートンが一路万座へ向って出立。当初実行も危ぶまれたが、「でかんしよ合唱団」の応援を得て車の手配もつき、無事実行、出発と相なりました。

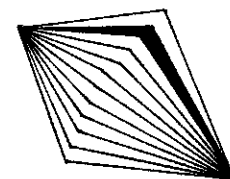
しかし、高崎での風の状況から判断すると今日の天気は——と思ったとおり猛吹雪。一、二本滑っただけで視界ゼロ。全員ロッヂへ緊急避難、額を寄せ集めて「どうする?」「やめようか」「温泉にでも行こ」「そうしよう、そうしよう」てなわけで即断即決、こゝがわが合唱団のいいところ。直ちに勇気ある散収、一路万座の温泉へ。一日の疲れ（疲れるほど滑ったとは、とても思えません……）をいやし、明日への活力を養うには、のんびりと温泉につかるのが一番とばかり、滑れぬスキーにちよびり未練も残しながら万座の湯加減を楽しんできました。

今回は悪天候に負けた形となってしまいました。草津では3人のスキーヤーが全員死亡という痛ましい遭難の報道もありました。無理をせず今シーズン再度の挑戦を胸に秘し、黙々と(ではない)賑やかに帰路に着きました。何れにしても雪路、悪天候の中、無事に行き来されたことは大変結構なこと、これもひとえにベトーヴェン杯のおかげです。次回はきっと楽しいスキーになると思いますので、これに懲りず、是非また参加して下さい。

〈蛇足〉 今回参加した人＝若井さん、羽鳥さん、平沢さん、渋谷さん、(でかんしょ) 柴崎さん、志村さん、OB小磯さん、そして事務局の松本、以上8名の皆さんでした。

■ アルチュール・オネゲル

それでも、耳の不自由さは彼の思考内容に全く
何の影響も与えなかった。
彼を己れ自身のうちに沈潜させたこの耳の不自由さこそ、
天才を集中させ、
またそれが彼の時代への放縦さや凡庸から
彼を守った。
と断言したい気持ちに私は駆られる。（松本耿丈訳）



募集ニュース原稿

題材自由、長編分割掲載、詩短歌俳句歓迎
自己紹介、他己紹介可。商品PR 団員割引のみ可



第9の歓びを求めて

切り拓こう 私たちの世界を!

＝「ドイツで歌うオ9」目指して＝

日ざしも大分暖かくなって 寒かった季節とも又当分の間お別れです。特に今冬は例年にくらべると厳しい寒さの日が多かったようですが、暖房完備の(?)練習場には足連!のメンバーが隔週レッスンを休むことなく続けて来ました。そのレッスンも今年度分は残り僅か2回となりました。5月の定期総会を至て、6月5日から1986年度の「オ9レッスン」が始まります。

1986年度のオ9は今までと違って、長期的な展望にたった「オ9の国際交流」実現の為の基礎作りをする年でもあります。ベートーヴェンの故郷ドイツでオ9を歌いたい、と言うことは、永年この運動に参画して来た「私たちの夢」でもありました。12年に及び運動のキャリアが1つのはっきりとしたビジョンとなって私たちの目の前に横たわっています。もう夢が夢ではなくて現実の姿が仄かに、しかも着実に現われて来っ、あります。

「ほんとうにそんな事が出来るんですか?」と半信半疑の方もいるようです。でもこの事は、何もしくも実現するということではありません。1人ひとりの団員がお互いの力を結び合い、共通の目的に向かって努力合ってこそ勝ち取るものなのです。自分自身の手でこの素晴らしい夢を掴み取りましょう。その時こそ、ベートーヴェンが描いたオ9交響曲の至福に満ちた歓喜の中に、私たちの世界が、人生が拓かれるでしょう。



2nd ノーヴェ ジョイント・コンサート

イタリア・日本歌曲の夕べ

¥1,500 事務局にあります。

5月17日(土)午後6時30分/高崎市文化会館ホール

Sop. Yōko Akabane.

Ten. Shinsuke Matsubara.

Bri. Seiichi Ōsawa.

後援: 高崎市民音楽連盟、高崎オ9合唱団、上毛新聞社、Piano. Y. Nakajima, I. Okada.

歌のひろば



ウィーンからの告白

敬愛なる清巳様がオ9ニュースの製作に携わる苦勞を思えばこそ、私は告白します。

〈ペンネーム〉 ヴォルフガング アルマジロ ももんがあ 〈バス〉

今になると昨年の11月の末に何処へ行ったなんて、恥かしくて口にも出せません。だからドイツ製カステルの鉛筆を使って書きましょう。私は「ウィーンで集う愛のチャリティーコンサート」という広告のコピーに魅せられ、若くして憧れの ÖSTERREICH へ行かせてもらいました。北海道から九州まで総勢220人の有志が集い、楽友協会ホールでオ9の演奏を行い、収益金を寄附しようという、誠に Seid umschlungen, Millionen! な企画だったのです。

演奏会が成功し、喝采を受けながら満員のホールを見渡した時、障害者の方を見て初めて自分に気が付きました。自分はチャリティーをたてまえに、ウィーンの観光とムジークフェラインの舞台に立つ事を目的にしていたのではないかと。シラーの人類愛を忘れていた私を愚かに思います。

(本名 小玉 義孝)

沼田『緑の第九』に

男性陣の応援を

沼田オ9を歌う会では今年の5月11日(日)PM2:00にオ9演奏会を開きますが、ご多聞に洩れず、わが「高崎オ9」と同様、女性が圧倒的に多く、男性の応援を依頼されました。

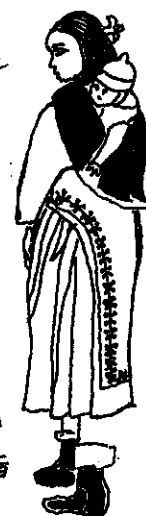
一昨年の5月、初めての演奏会の時も応援出援しましたが、北毛の枝である、「沼田オ9」の成功のために1人でも多く参加して下さい。

なお、演奏会の前の5月連休中に2回程、特別レッスンを行う予定です。日時が決まり次第、お知らせしますが、5月11日は何が何でも「沼田オ9」の為の日程を確保して下さい。

朋英・小百合 夫妻に 赤ちゃん 誕生!

運営委員でドイツ語指導もして下さっている福田朋英さんとオ9のマドンナ小百合さんご夫妻の間に去る1月21日、愛の結晶である可愛い赤ちゃんが誕生しました。

男の子で「広光」と命名されました。親子共に健やかとのこと、まことにおめでとうございませう。将来の名テナー目指してお育て下さい。



’85年度のレッスンはあと2回
4月3日と17日(木曜日)です。



はゞたけやう

世界の国へ!!

持てる力すべてを結集しよう

今年度(1985)の練習も残すところ1回だけとなりました。寒い冬の間、隔週とは云えレッスンを続けていくのは並大抵のことではありません。いつでも沢山の人が集まるようですと世話役も俄然張り切って、雰囲気も盛り上りますが、10人にも満たない日にはそれぞれ泣きたいような思いにかうれることもあります。それでも予定通り休まず続けることが出来たのも松原真介先生をはじめとする指導の皆さんの熱意があったからに他なりません。勿論1回も休まずに通い続けた団員も何人かいました。'86年度のやう開幕の原動力になるのはすべてこういった人たちです。

1986年度は既報のようにドイツでのやう演奏会を開くためのスタートの年になります。一ロにドイツで…と云っても私たちの願いが実現するまでには、さまざまな障壁が横たわっています。しかしそれらの障壁を一つ一つ乗り越えて行くことがやう交響曲のテーマである真の歓びに到達する道程でしょう。私たちは億することなく、この障壁を克服する道を選びました。あとはこの目標に向って、団員の持つ、すべての力をどのように結集するか、ということだけです。これから始まる1986年度はどういった意味で今までとは違った重要な年と位置づけられるでしょう。やう合唱を通じて知り逢えた1人1人のきずなを大切に国際文化の交流に役立とう。

次のレッスンは今年度の最終回です。

4月17日(木) PM6:30 時間厳守

沼田やう(5月11日(日))演奏会に

男性諸君応援を!

沼田やうを歌う会では5月11日(日) PM 2:00より利根文化会館で「緑のやう」演奏会を開きます。何処も同じ悩みですが男性の数が少ないので当合唱団に応援依頼がありました。多くの団員の積極的な参加をお願いします。女性の方も参加者はお申出を!



独りごと

〈バス〉 苦 浪 人

三寒四温といわれる季節ですが、今年はいつまで至っても温の方が少ない感じで、四寒三温といったところでしようか。昔ならさしずめハレー彗星のせいにして、この異常気候は天変地異の前触れ、などと大騒ぎしていたに違いありません。有難いことに現代の科学は、徐々に私たちの住む宇宙の神秘の謎を解き明かしてくれますので、以前のよう

に「この世の終り」などと騒ぐこともなくなりました。その代りとなつてはなんですか、月や星や空や太陽を神とあがめたり、自分の祈りを託すよすがさえ失って、さながら「彷徨えるオランダ人」ようになってしまいました。この罪の償いが何時訪れるのか考える見るだけでゾッとします。このまゝ際限もなく科学万能の時代に突き進んで行くと、一体どうなってしまうのでしょうか。人類などは思考性を持ったコンピューター・ロボットによって簡単に抹殺されてしまうかも知れません。

こんなネクラごとを考えるのも、現代の世相がうわべの華やかさの陰で、のっぴきならない破壊の深淵に立たされていることに気付いている人たちが余りにも少いか、気付いていても自己の利便性のために素知らぬ顔をしている人が多いと思えるからです。もっともそんな繰り言を云っても、私一人でどうなるものではないんですが、私たちの住むかけがえのない地球を一人でも守ろうとする意識を持って貰えたら、私たちはもっと生き生きとした環境を作り出せるのではないかと思います。その奥やう合唱団は素晴らしい要素を持っていますね。音楽は生(なま)だし、演奏会も自分たちで創り上げるし、このニュースだって手書きだと云うし……、おまけにドイツで公演する夢まであったりしてー。いやゴメン。夢ではなくてこれも手創り。どうやらネアカになりそう。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★
★ 阿部 真先生
★ 伊豆 松崎町へ赴任
★ 運営委員でピアノ伴奏も担当
★ して下さっていた阿部真先生が4
★ 月より静岡県教委へ移ります。
★ 赴任地は下田よりバスで1時間
★ 程の松崎町です。お元気ですね!
★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

群馬合唱連盟創立 30周年記念演奏会

■ 指揮 三 沢 洋 史

Mozart REQUIEM K626

- 日時 4月13日(日) PM 2:00 開演
- 場所 群馬音楽センター ■ 入場料 1,500 (全自由席)
- 独唱 S 塚田京子 A 天田美佐子 T 松原真介 B 角田和弘
- 演奏 群馬交響楽団・群馬県合唱連盟合唱団



■ レナード・バーンスタイン

本当の美質、天から与えられた素質。
おしまいに人を感動させる力を持っているのは、
ぼくたちの ベートーヴェンなのだ。

985年度の総決算と986年度への出発！

三年後の国際文化交流実現へ照準

今日のレッスンは、1985年度事業として行われてきたオ9合唱団の諸行事の最終日です。明日からは、休みなく'86年の活動が開始されます。総会の議案づくりは勿論ですが、新年度の団員募集の宣伝や、これらの受付、会計業務など団にとっては一年中で一番忙しい時期でもあります。況して'86年度は私たち念願の「ドイツで開くオ9演奏会」実現の基礎作りをする年でもあります。

高崎オ9合唱団創立15周年を記念すべき年として、この企てが成功するか否かは、まさに13年目に当る'86年の活動如何にかかっているといっても過言ではありません。特に新入団員については私たちが考えている国際文化交流の意義を正しく理解して貰う必要があります。物見遊山の気持や、観光のついでにといった安易な考え方で参加して頂くのでは困るのです。私たち自身も「国際音楽文化交流」についてのもっと深い討論を行っていかねばなりません。その中から「オ9とは何か？ ベートーヴェンとは何なのか？」を追究していきましょう。そしてこのことは、あなたの人生にきっと大きなファクターをもたらしてくれることでしょう。

総会&ミニコンサート



1986年度の総会を次の通り開きます。定刻までにお集り下さい。

日時 1986年 5月22日(木) PM 6:30

場所 高松町カトリック教会 オ9練習場

総会後アトラクションとして先生方の名演を聴かせて頂くミニコンサートが開かれます。楽しみに ご期待下さい。

音楽は 人類の
普遍的な言葉

〈アルト〉 植原 阿佐子

春です。風の中の光はキラキラ輝いています。
みずみずしい自然の息吹きが、活動への意欲をかり
立て、何か新しい期待にときめきを感じる今日の
頃、我がオ9合唱団の15周年はドイツでの演奏に

決定との朗報は、春風が運んでくれた素朴な贈り物……。ドイツへのあこがれで胸が一杯です。

美しい自然、ゴシックの雄大な建築物、楽聖、文豪の足跡を訪ねる昆虫、美味しいビールと限りなく夢色を染めます。演奏会は勿論、素晴らしいものにして、国際交流を深めることでしよう。暖かくて誠実なドイツの方を想います。この称な数々の思い出は、昨年暮れ、ウィーンを訪れた折に感じ得たものならです。湧き出る感動と抑えきれない興奮をいつまでも忘れられない旅でした。ストップモーションの映画の様に私の心に焼きついてあります。そして今また新たな期待が広がって行きます。

これからの目的の日まで、先ず一生懸命に練習に励みましょう。国際人としての自覚を高められるよう自らを戒めつつゆかなければと心に誓っております。

ウィーンでも日本に居る以上に日本人としての自分を意識致しました。私なりに得たものを大切にしていきたいと思っております。

「音楽は人類の持つ普遍的な言葉である」というロングフェローの言葉も実感となりました。

先にお知らせした通り5月11日(日)PM2:00に沼田オ9歌う会の演奏会が開かれますが、男性が少いので1人でも多く応援して下さい。特別練習は4月27日と5月

5日は「ちぐさ幼稚園」5月10日は利根沼田文化会館です。指揮 今村能(ちから)、ソプラノ 大倉由紀枝、アルト 西明美、テノール 大野徹也、バリトン 勝部太、管弦楽 群馬交響楽団です。是非絶大な応援を！

沼田緑の第九 5月11日(日)PM2時

特別練習 4月27日 AM11:00, 5月5日 PM1:00,

5月10日(土曜前日) PM7:00 の3回

編集後記

「石の上にも3年」という諺がありますが、このニュースを欠かさず発行し始めて恰度3年経ちました。正直云ってほっとしています。演奏会が開かれるまでは多くの人達が集っていますので、原稿の集り具合も比例的に良い訳ですが、冬期をはさむ隔週レッスンになると参加者の数もグッと少なくなってしまうので、ニュースの内容を充実させるのに一苦勞です。今回で通算112号になりましたが、今まで書いた原稿を眺めかえすと、その一枚一枚に、その時どきの苦しみ、楽しみなどが更迭ってきて、古い日記を愛ほしむのに似た感懷を味わいます。手前味噌になりますが、効率の悪さは別として「手創り」なのが自慢です。〈田中清巳〉